
交付運用報告書

第2期

(決算日 2026年6月10日)

岡三・UBS・ファンドラップ・シリーズ

FW・UBS・日本株式ファンド
FW・UBS・米国株式ファンド
FW・UBS・欧州株式ファンド
FW・UBS・日本債券ファンド
FW・UBS・世界債券ファンド
FW・UBS・ハイ・イールド債券ファンド
FW・UBS・オルタナティブファンド
FW・UBS・世界リートファンド
FW・UBS・エマージング株式ファンド
FW・UBS・コモディティファンド
FW・UBSプレミアム・エクイティファンド

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)

<http://www.ubs.com/japanfunds>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

目 次

指定投資信託証券	1
FW・UBS・日本株式ファンド	3
FW・UBS・米国株式ファンド	16
FW・UBS・欧州株式ファンド	29
FW・UBS・日本債券ファンド	42
FW・UBS・世界債券ファンド	54
FW・UBS・ハイ・イールド債券ファンド	65
FW・UBS・オルタナティブファンド	77
FW・UBS・世界リートファンド	90
FW・UBS・エマージング株式ファンド	101
FW・UBS・コモディティファンド	114
FW・UBSプレミアム・エクイティファンド	126

指定投資信託証券

	指定投資信託証券
FW・UBS・日本株式 ファンド	One国内株オープンFⅡ（FOFs用）（適格機関投資家限定）
	シュローダー日本ファンド（適格機関投資家専用）
	ブラックロック日本株式オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）
	GIMジャパンマイスターF（適格機関投資家専用）
	日本株リサーチアクティブファンド（適格機関投資家専用）
	ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）
	UBS MSCI ジャパン
	マン GLG ジャパン・コアアルファ・エクイティ
	UBS（Lux）エクイティ・ファンド - ジャパン（JPY）
FW・UBS・米国株式 ファンド	UBS（Lux）エクイティSICAV - USAグロース（USD）
	GQGパートナーズ US エクイティ・ファンド
	JPモルガン・ファンズ - USグロース・ファンド
	MFSメリディアン・ファンズ - USバリュー・ファンド
	ロベコ BP USラージ・キャップ・エクイティーズ
	ブランドスUSバリュー・ファンド
	iシェアーズ ラッセル1000グロース UCITS ETF
	iシェアーズ ラッセル1000バリュー UCITS ETF
FW・UBS・欧州株式 ファンド	GAM スター・ヨーロッパ・エクイティ
	JPモルガン・ファンズ - ヨーロッパ・エクイティ・ファンド
	UBS（Lux）キー・セレクション SICAV - ヨーロッパ・エクイティ・バリュー・オポチュニティ
	ウェリントン・ストラテジック・ヨーロッパ・エクイティ
	コムジェスト・グロース・ヨーロッパ
FW・UBS・日本債券 ファンド	One金利・クレジット型戦略ファンドⅡ（FOFs用）（適格機関投資家限定）
	マニライフFW用 日本債券ストラテジックファンド（適格機関投資家専用）
	明治安田FOFs用アクティブ日本債券ファンド（適格機関投資家専用）
	ニッセイ国内債券アクティブファンド（適格機関投資家専用）
FW・UBS・世界債券 ファンド	JPモルガン・ファンズ - グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド
	ニューバーガー・バーマン・グローバル・ボンド・ファンド
	PIMCO ファンズ・グローバル・インベスターズ・シリーズ PLC - グローバル・ボンド・ファンド
FW・UBS・ハイ・イールド 債券ファンド	ノムラ・ファンズ・アイルランド - USハイ・イールド・ボンド・ファンド
	NYLI GF US ハイ・イールド・コーポレート・ボンド
	ブラックロック・グローバル・ファンズ - USドル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

	指定投資信託証券
FW・UBS・オルタナティブ ファンド	ニューバーガー・バーマン US ロング・ショート・エクイティ・ファンド
	バータス GF アルファシンプレックス・マネージド・フューチャーズ・ファンド
	UBS (Irl) インベスター・セレクション・グローバル・エクイティ・ロング・ショート・ファンド
	アビバ・インベスターズ・マルチ・ストラテジー・ターゲット・リターン・ファンド
	ジュピター・メリアン・グローバル・エクイティ・アブソリュート・リターン・ファンド
	ラザード・ラスモア・オルタナティブ・ファンド
	AQR UCITS ファンズ・AQRスタイル・プレミアム UCITS ファンド
FW・UBS・世界リート ファンド	ヘプタゴン・ケトルヒル USロング・ショート株式ファンド
	コヘン&スティアーズ SICAV - グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・ファンド
	ノルディア 1, SICAV - グローバル・リアル・エステート・ファンド
FW・UBS・エマージング 株式ファンド	DWS インベスト・グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ
	レッドホイール・グローバル・エマージング・マーケッツ・ファンド
	アカディア・エマージング・マーケッツ・エクイティ UCITS II
	サンズ・キャピタル・エマージング・マーケッツ・グロース・ファンド
FW・UBS・コモディティ ファンド	ARGAエマージング・マーケット・エクイティ・ファンド
	UBS (Lux) コモディティ・インデックス・プラス USD ファンド
	ニューバーガー・バーマン・コモディティーズ・ファンド
FW・UBSプレミアム・ エクイティファンド	UBS BBGコモディティ・CMCI SF UCITS ETF
	UBS (Lux) セキュリティーズ・エクイティ・ファンド
	UBS (Lux) インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド
	UBS (Lux) キー・セレクション SICAV - デジタル・トランスフォーメーション・テーマズ (USD)
	UBS コモン・コントラクト・ファンド - グローバル・クライメート・トランジション UCITS
	UBS (Lux) インスティテューショナル SICAV - エマージング・マーケッツ・エクイティ・パッシブ (USD)
	UBS (Lux) キー・セレクションSICAV - グローバル・エクイティ・バリュー・オポチュニティ (USD)
	UBS (Lux) エクイティSICAV - グローバル・グロース・サステナブル (USD)

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、わが国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・日本株式ファンド

追加型／国内／株式

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	15,566円
純資産総額	23,128百万円
騰落率*	37.9%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

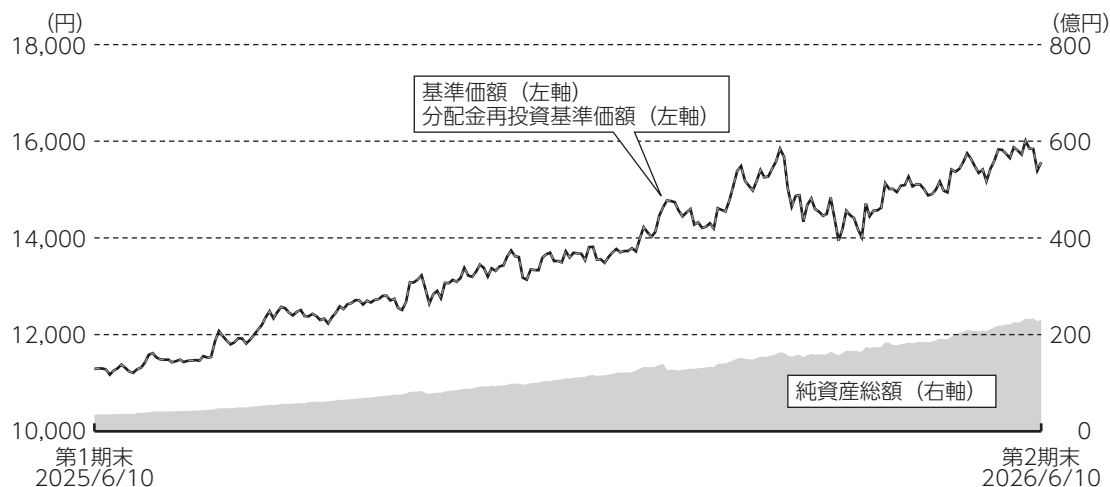
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：11,291円

第2期末：15,566円 (既払分配金 0円)

騰落率： 37.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、わが国の株式を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期中騰落率
ブラックロック日本株式オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）	20.0%	-6.3%	33.3%
UBS（Lux）エクイティ・ファンドー・ジャパン（JPY）-I-A3	19.8%	-4.0%	25.1%
One国内株オープンFⅡ（FOFs用）（適格機関投資家限定）	19.1%	-0.1%	50.4%
ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	15.1%	+15.1%	5.7%
日本株リサーチアクティブファンド（適格機関投資家専用）	15.1%	+1.0%	45.0%
シュローダー日本ファンド（適格機関投資家専用）	9.9%	-6.1%	52.7%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%	-0.0%	0.4%

(注1) 組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 「ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）」の当期中騰落率は、2026年3月19日から期末までの期間で算出しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	36円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は13,677円です。
（投信会社）	(32)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(2)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	3	0.022	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.009)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.013)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	39	0.286	

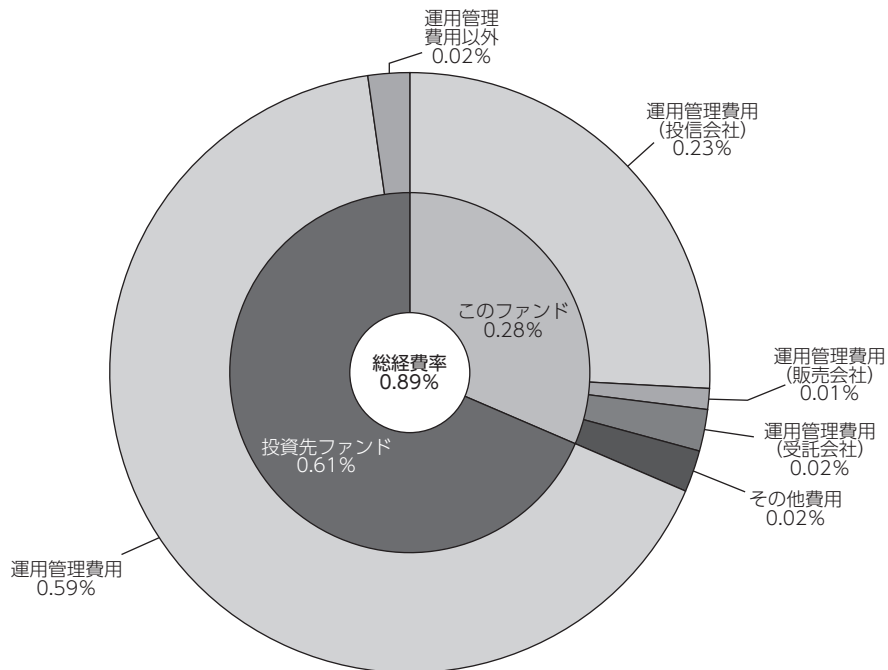
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	0.89%
①このファンドの費用の比率	0.28%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.89%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日	2022年6月10日	2023年6月12日	2024年9月13日	2025年6月10日	2026年6月10日
	—	—	—	設定日	決算日	決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	11,291	15,566
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	12.9	37.9
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	3,404	23,128

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

日本株式市場は上昇しました。期の前半は、米国のハイテク企業による人工知能（AI）関連投資の拡大期待や、日米通商協議の進展などを背景に、半導体関連株を中心として上昇基調で推移しました。期の後半には、中東情勢の緊張激化を受けて株価が一時大きく下落する局面もありましたが、その後は米国とイランの停戦合意などを受けて投資家心理が改善し反発しました。また、企業業績の底堅さやAI需要の継続期待も相場を下支えし、期を通じてみると上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、わが国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。この結果、当期は組入れの指定投資信託証券を新規に1本追加しました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日~2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	5,566円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、わが国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

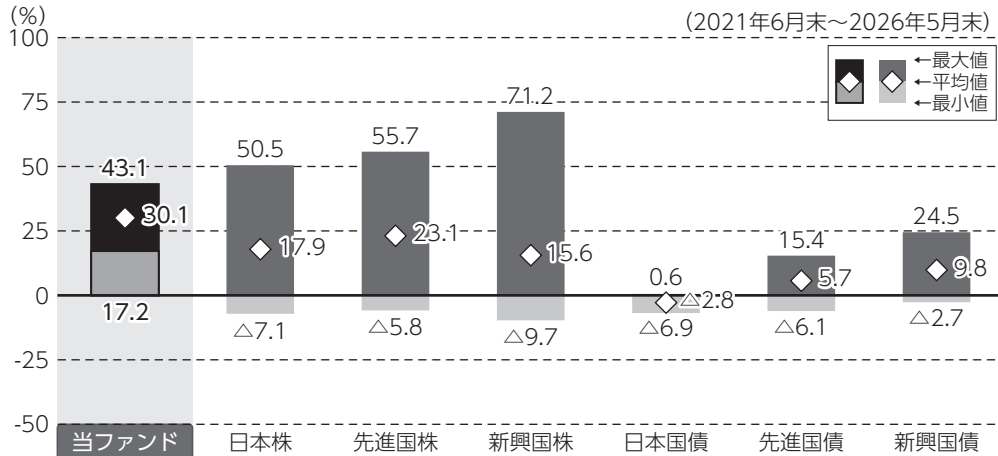
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日及び2026年3月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／国内／株式
信託期間	無期限
運用方針	主として、わが国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- *全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- *2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- *騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- *騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

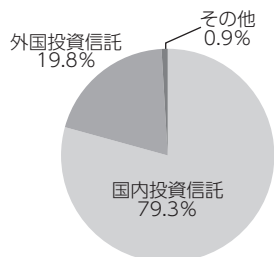
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：7銘柄）

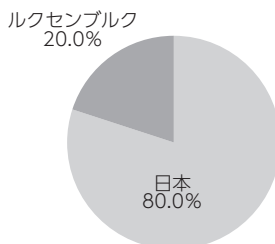
銘 柄	比率（%）
ブラックロック日本株式オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）	20.0
UBS（Lux）エクイティ・ファンドー・ジャパン（JPY）-I-A3	19.8
One国内株オープンFⅡ（FOFs用）（適格機関投資家限定）	19.1
ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	15.1
日本株リサーチアクティブファンド（適格機関投資家専用）	15.1
シュローダー日本ファンド（適格機関投資家専用）	9.9
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

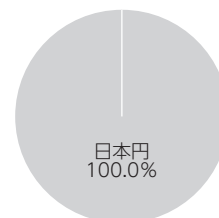
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」でご覧いただけます。

純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	23,128,190,868円
受益権総口数	14,857,729,393口
1万口当たり基準価額	15,566円

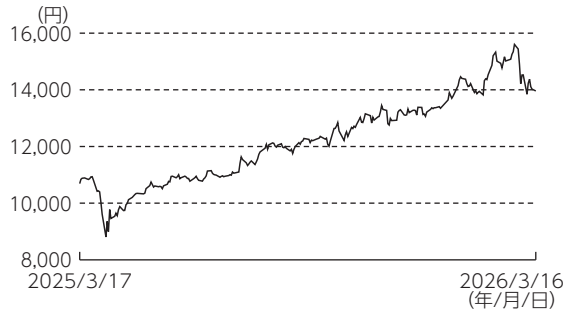
(注) 当期（第2期）中における追加設定元本額は13,898,949,855円、同解約元本額は2,056,883,088円です。

組入上位ファンドの概要

(2026年3月16日現在)

◆ブラックロック日本株式オープン (FOFs用)

基準価額の推移 (2025年3月17日～2026年3月16日)

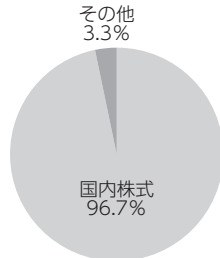


(適格機関投資家専用)

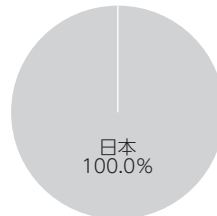
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：60銘柄)

銘柄名	国/地域	比率(%)
トヨタ自動車	日本	4.3
三菱UFJフィナンシャルG	日本	4.0
三井物産	日本	3.7
ソニーグループ	日本	3.2
三菱重工業	日本	3.2
東京海上HD	日本	2.9
三菱電機	日本	2.5
HOYA	日本	2.5
丸紅	日本	2.4
塩野義製薬	日本	2.3

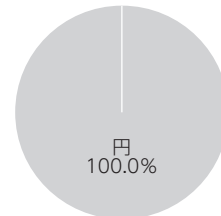
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。なお、直接投資しているのはマザーファンドですが、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はその先の投資資産を表示しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/3/18～2026/3/16	
	金額	比率
信託報酬 (投信会社)	50円 (47)	0.411% (0.384)
(販売会社)	(1)	(0.005)
(受託銀行)	(3)	(0.022)
売買委託手数料 (株式)	51 (51)	0.416 (0.416)
その他費用 (監査費用)	1 (1)	0.011 (0.011)
合計	102	0.838

※期中の平均基準価額は12,209円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、5ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

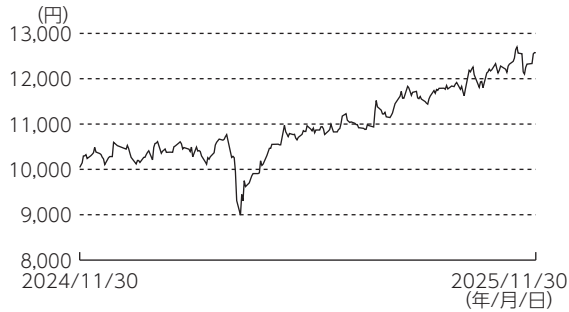
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入上位ファンドの概要

(2025年11月30日現在)

◆UBS (Lux) エクイティ・ファンドー・ジャパン (JPY) -I-A3

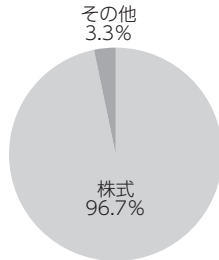
基準価額の推移 (2024年11月30日～2025年11月30日)



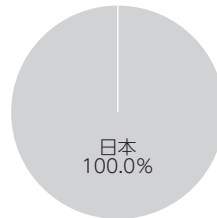
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：34銘柄)

銘柄名	国/地域	比率(%)
SONY GROUP CORPORA NPV	日本	7.8
MITSUBISHI UFJ FIN NPV	日本	7.5
ITOCHU CORP NPV	日本	4.9
SUMITOMO MITSUI TR GRP NPV	日本	4.1
NINTENDO CO LTD NPV	日本	3.9
NEC CORP NPV	日本	3.8
FUJITSU NPV	日本	3.5
RECRUIT HLDGS CO L NPV	日本	3.3
MITSUMI FUDOSAN CO NPV	日本	3.3
TOYOTA MOTOR CORP NPV	日本	3.2

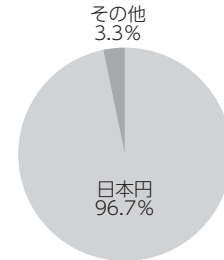
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

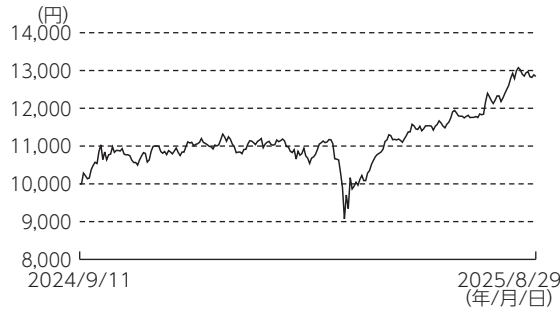
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2025年8月29日現在)

◆One国内株オープンFⅡ (FOFs用) (適格機関投資家限定)

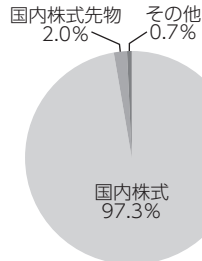
基準価額の推移 (2024年9月11日～2025年8月29日)



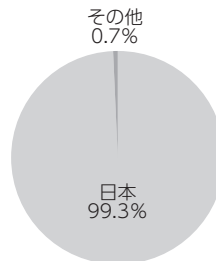
組入上位10銘柄 (銘柄数: 152銘柄)

銘柄名	国/地域	比率(%)
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	4.1
ソニーグループ	日本	3.9
トヨタ自動車	日本	3.6
三井住友フィナンシャルグループ	日本	2.7
日立製作所	日本	2.7
ソフトバンクグループ	日本	2.0
任天堂	日本	2.0
三菱重工業	日本	1.9
三菱商事	日本	1.8
日本電気	日本	1.6

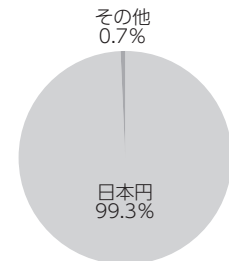
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。なお、直接投資しているのはマザーファンドですが、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はその先の投資資産を表示しております。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2024/9/11～2025/8/29	
	金額	比率
信託報酬	72円	0.649%
(投信会社)	(68)	(0.606)
(販売会社)	(2)	(0.021)
(受託銀行)	(2)	(0.021)
売買委託手数料	4	0.038
(株式)	(4)	(0.038)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
その他費用	0	0.001
(監査費用)	(0)	(0.001)
合計	77	0.688

※期中の平均基準価額は11,161円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、5ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、米国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・米国株式ファンド

追加型／海外／株式

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	15,000円
純資産総額	23,569百万円
騰落率*	35.0%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

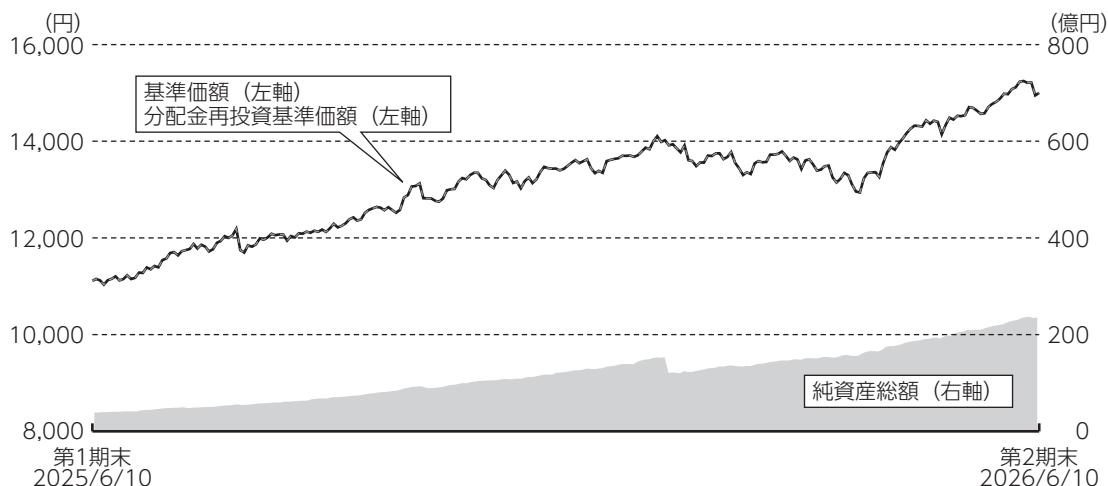


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：11,110円

第2期末：15,000円 (既払分配金 0円)

騰落率： 35.0% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の株式を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期中騰落率
UBS (Lux) エクイティSICAV－USAグロース (USD) －I-A3	19.8%	－4.9%	22.1%
JPモルガン・ファンズ－USグロース・ファンド－I USD	19.7%	－5.5%	17.0%
ブランドスUSバリュー・ファンド－SI USD	18.5%	＋0.2%	22.2%
ロベコ BP USラージ・キャップ・エクイティーズ－I-USD	18.0%	－2.4%	29.6%
iシェアーズ ラッセル1000 バリュー UCITS ETF - USD	9.7%	＋9.7%	23.9%
iシェアーズ ラッセル1000 グロース UCITS ETF - USD	9.4%	＋9.4%	16.0%
MFSメリディアン・ファンズ－USバリュー・ファンド－I1 USD	4.8%	－6.0%	12.8%
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	0.0%	－0.0%	0.4%

(注1) 組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 「iシェアーズ ラッセル1000バリューUCITS ETF - USD」の当期中騰落率は2025年6月27日から期末までの期間で算出しております。

(注3) 「iシェアーズ ラッセル1000グロース UCITS ETF - USD」の当期中騰落率は2025年6月27日から期末までの期間で算出しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	35円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は13,193円です。
（投信会社）	(30)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用	4	0.029	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(1)	(0.009)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.012)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	39	0.293	

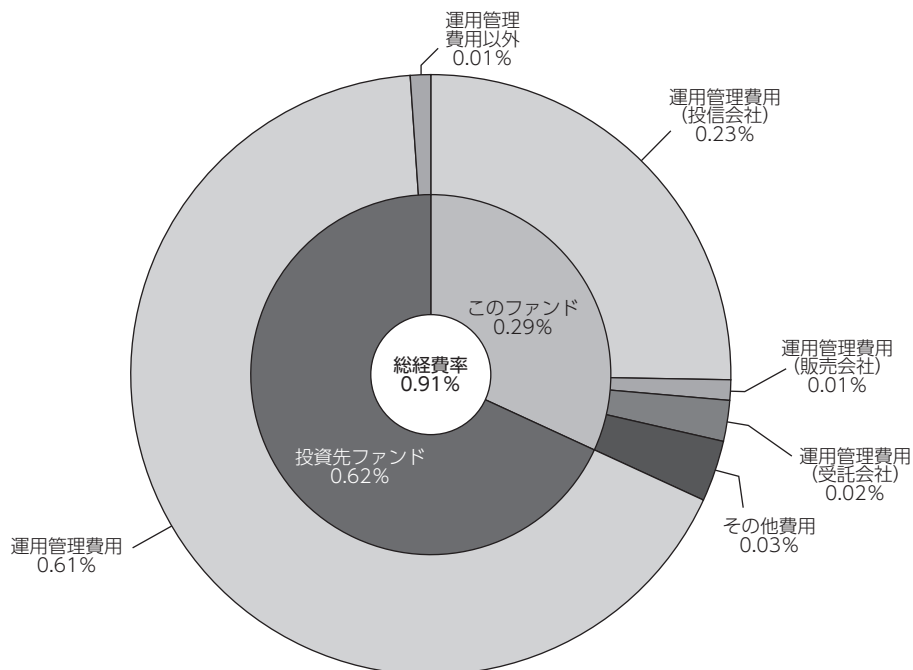
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	0.91%
①このファンドの費用の比率	0.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.61%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。
- (注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.91%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日	2022年6月10日	2023年6月12日	2024年9月13日	2025年6月10日	2026年6月10日
	—	—	—	設定日	決算日	決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	11,110	15,000
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	11.1	35.0
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	3,877	23,569

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

米国株式市場は上昇しました。期の前半は、人工知能（AI）関連投資の拡大期待や大手ハイテク企業の好調な業績を背景に、半導体・テクノロジー関連銘柄を中心として株価は上昇基調で推移しました。期中盤以降は、通商政策を巡る不透明感や中東情勢の緊張激化を受けて一時調整する局面もありましたが、企業業績の底堅さや利下げ期待などに支えられて反発しました。為替市場では、日米の金融政策や金利動向を巡る思惑から変動したものの、期を通じてみると米ドル高・円安が進行了しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、米国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。この結果、当期は組入れの指定投資信託証券を新規に2本追加しました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日～2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,999円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、米国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

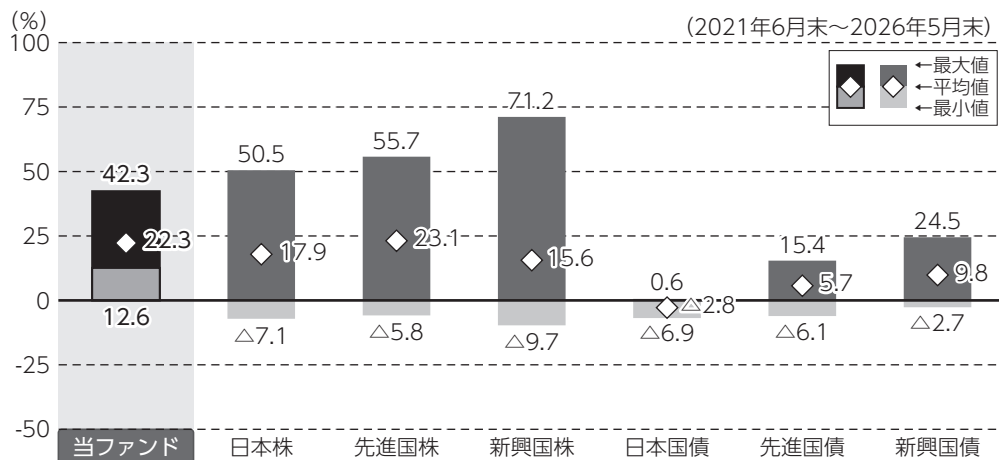
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	主として、米国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

*騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

*騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

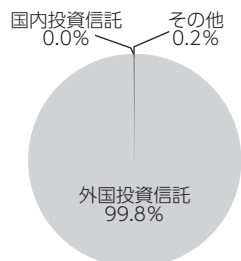
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：8銘柄）

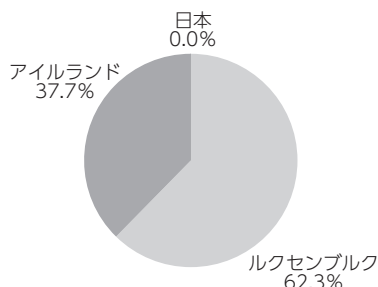
銘柄	比率 (%)
UBS (Lux) エクイティSICAV－USAグロース (USD) －I-A3	19.8
JPモルガン・ファンズ－USグロース・ファンド－I USD	19.7
プランデスUSバリュー・ファンド－SI USD	18.5
ロベコ BP USラージ・キャップ・エクイティーズ－I-USD	18.0
iシェアーズ ラッセル1000 バリュー UCITS ETF-USD	9.7
iシェアーズ ラッセル1000 グロース UCITS ETF-USD	9.4
MFSメリディアン・ファンズ－USバリュー・ファンド－I1 USD	4.8
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

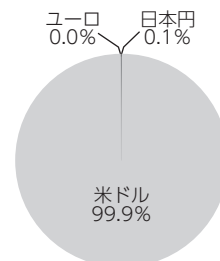
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」でご覧いただけます。

純資産等

項目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	23,569,386,169円
受益権総口数	15,713,062,607口
1万口当たり基準価額	15,000円

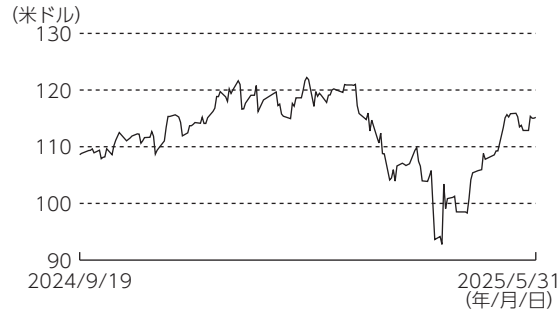
(注) 当期（第2期）中における追加設定元本額は15,408,770,060円、同解約元本額は3,185,938,264円です。

組入上位ファンドの概要

(2025年5月31日現在)

◆UBS (Lux) エクイティSICAV－USAグロース (USD) －I-A3

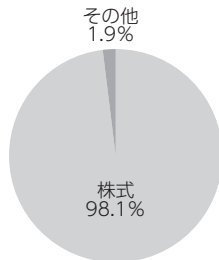
基準価額の推移 (2024年9月19日～2025年5月31日)



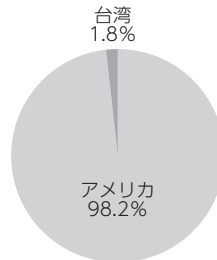
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：45銘柄)

銘柄名	国/地域	比率(%)
NVIDIA CORP COM USD0.001	アメリカ	9.5
MICROSOFT CORP COM USD0.0000125	アメリカ	9.1
AMAZON COM INC COM USD0.01	アメリカ	8.0
META PLATFORMS INC	アメリカ	5.7
APPLE INC COM NPV	アメリカ	5.7
BROADCOM CORP COM USD1.00	アメリカ	5.0
MASTERCARD INC COM USD0.0001 CLASS 'A'	アメリカ	3.9
ALPHABET INC CAP STK USD0.001 CL A	アメリカ	3.6
ELI LILLY AND CO COM NPV	アメリカ	3.4
ORACLE CORP COM USD0.01	アメリカ	2.7

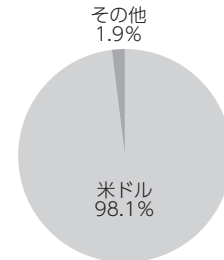
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

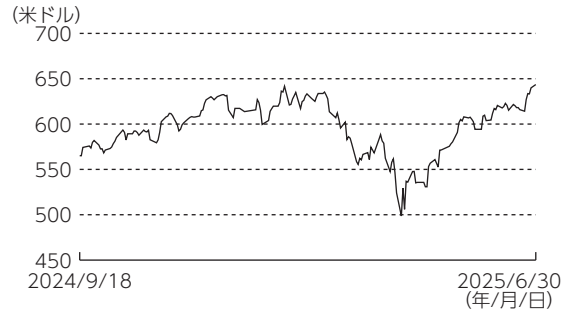
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2025年6月30日現在)

◆JPモルガン・ファンズーUSグロース・ファンドーI USD

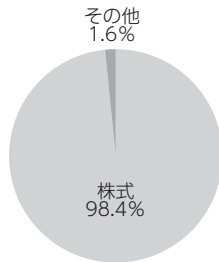
基準価額の推移 (2024年9月18日～2025年6月30日)



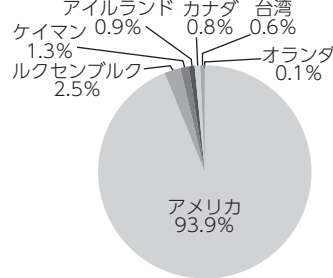
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：70銘柄)

銘柄名	種別	国／地域	比率(%)
NVIDIA Corp.	株式	アメリカ	9.8
Microsoft Corp.	株式	アメリカ	9.7
Meta Platforms, Inc. 'A'	株式	アメリカ	6.7
Amazon.com, Inc.	株式	アメリカ	4.9
Apple, Inc.	株式	アメリカ	4.7
Broadcom, Inc.	株式	アメリカ	4.4
Netflix, Inc.	株式	アメリカ	3.9
Alphabet, Inc. 'C'	株式	アメリカ	3.4
Tesla, Inc.	株式	アメリカ	3.2
Mastercard, Inc. 'A'	株式	アメリカ	3.1

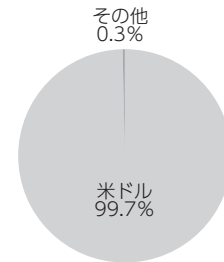
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

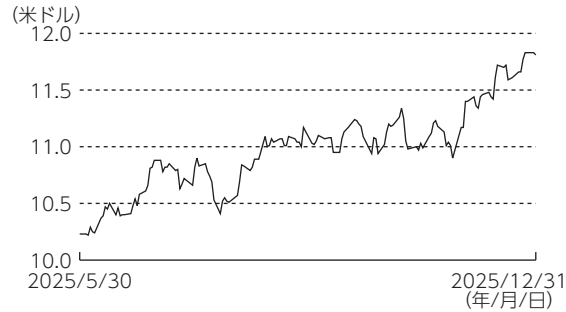
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2025年12月31日現在)

◆ブランドスUSバリュー・ファンドーSI USD

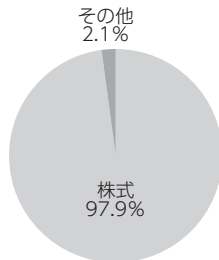
基準価額の推移 (2025年5月30日～2025年12月31日)



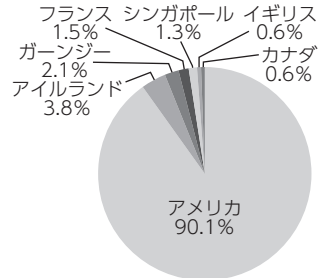
組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 60銘柄)

銘柄名	種別	国/地域	比率(%)
Merck & Co., Inc.	株式	アメリカ	3.2
Citigroup, Inc.	株式	アメリカ	2.9
Textron, Inc.	株式	アメリカ	2.6
Bank of America Corp.	株式	アメリカ	2.6
Becton Dickinson & Co.	株式	アメリカ	2.5
Wells Fargo & Co.	株式	アメリカ	2.4
Cigna Group	株式	アメリカ	2.3
SS&C Technologies Holdings, Inc.	株式	アメリカ	2.3
Willis Towers Watson PLC	株式	アイルランド	2.2
Halliburton Co.	株式	アメリカ	2.2

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されておりません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、欧州の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・欧州株式ファンド

追加型／海外／株式

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	15,056円
純資産総額	9,914百万円
騰落率*	28.0%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

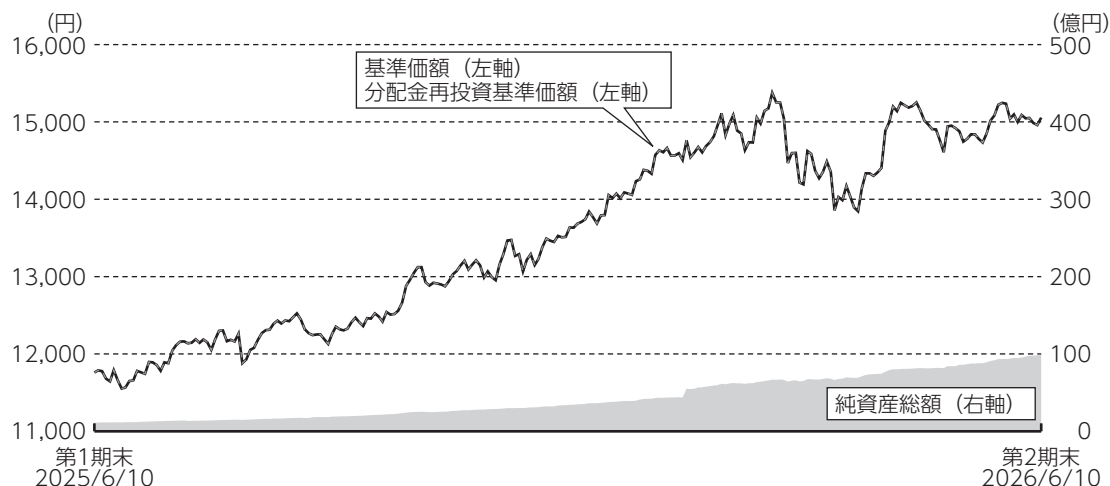


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：11,761円

第2期末：15,056円（既払分配金 0円）

騰落率： 28.0%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、欧州の株式を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期間中騰落率
JPモルガン・ファンズーヨーロッパ・エクイティ・ファンドーI EURO	85.0%	－14.4%	16.1%
ウェリントン・ストラテジック・ヨーロッパ・エクイティーEUR S	14.5%	＋14.5%	10.4%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%	－0.0%	0.4%

(注1) 組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 「ウェリントン・ストラテジック・ヨーロッパ・エクイティーEUR S」の当期間中騰落率は2025年6月27日から期末までの期間で算出しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	36円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は13,597円です。
（投信会社）	(31)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	5	0.036	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.011)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.010)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	41	0.300	

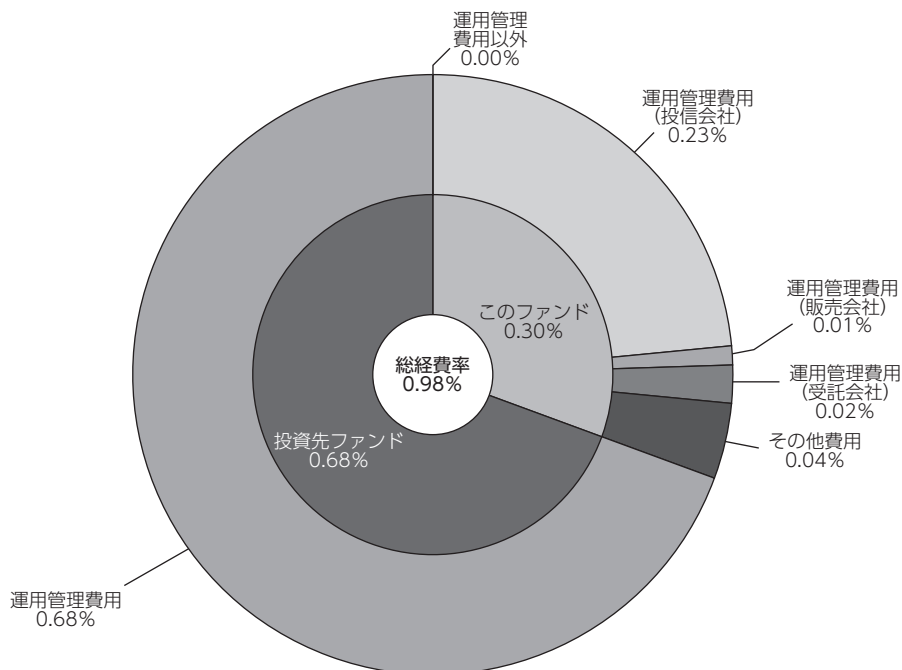
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	0.98%
①このファンドの費用の比率	0.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。
- (注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.98%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日	2022年6月10日	2023年6月12日	2024年9月13日	2025年6月10日	2026年6月10日
	—	—	—	設定日	決算日	決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	11,761	15,056
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	17.6	28.0
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	1,127	9,914

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

欧州株式市場は上昇しました。期の前半は、欧州企業の好調な業績や景気指標の改善に加え、米国資産からの資金分散の動きなどが株価の押し上げ要因となりました。期の中盤以降は、米国との通商協議を巡る不透明感や中東情勢の緊張激化を背景に軟調となる局面もありましたが、その後は米国とイランの停戦合意などを受けて投資家心理が改善し反発しました。為替市場では、欧州景気の回復期待やユーロ圏の金融政策を巡る見方などを背景に、ユーロ高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、欧州の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。この結果、当期は組入れの指定投資信託証券を新規に1本追加しました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日~2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	5,055円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、欧州の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

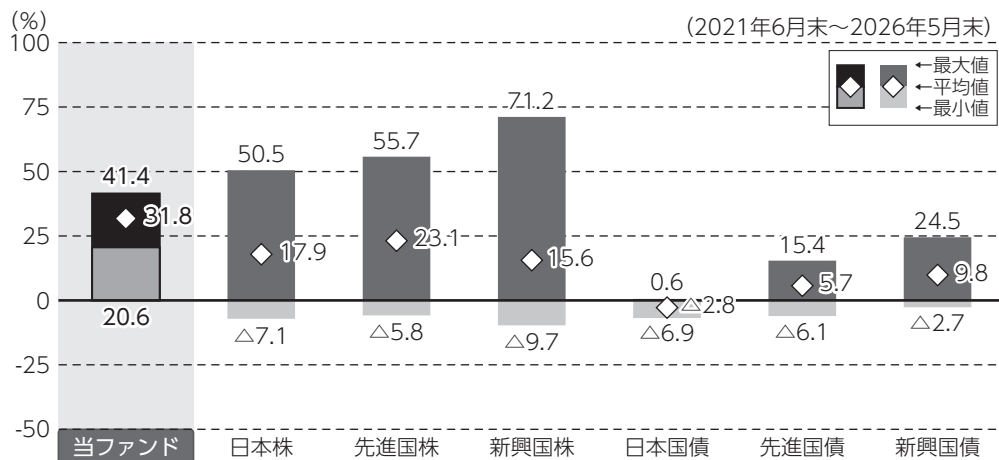
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日及び2026年3月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	主として、欧州の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

*騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

*騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

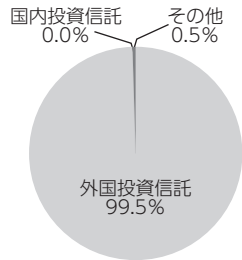
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：3銘柄）

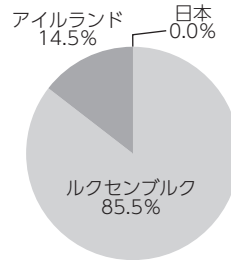
銘 柄	比率 (%)
JPモルガン・ファンズーヨーロッパ・エクイティ・ファンドーI EURO	85.0
ウェリントン・ストラテジック・ヨーロッパン・エクイティーEUR S	14.5
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

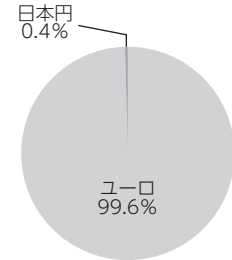
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」でご覧いただけます。

純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	9,914,059,671円
受益権総口数	6,585,004,208口
1万口当たり基準価額	15,056円

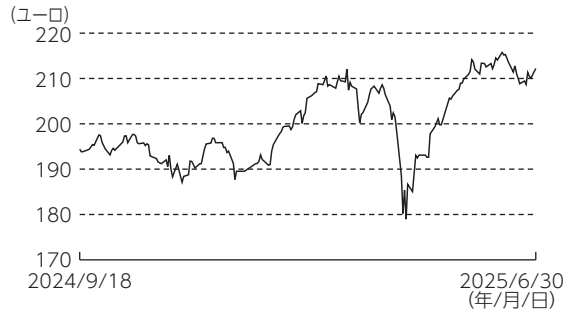
(注) 当期（第2期）中における追加設定元本額は5,907,383,767円、同解約元本額は280,746,153円です。

組入上位ファンドの概要

(2025年6月30日現在)

◆JPモルガン・ファンズーヨーロッパ・エクイティ・ファンドーI EURO

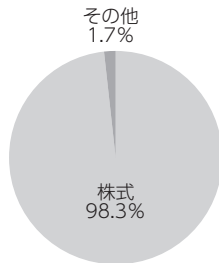
基準価額の推移 (2024年9月18日～2025年6月30日)



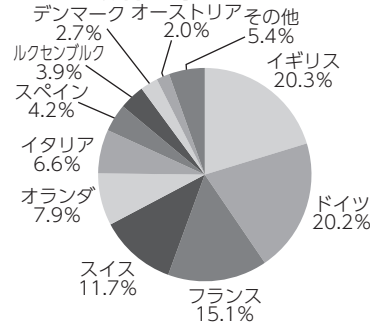
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：124銘柄)

銘柄名	国/地域	比率(%)
SAP SE	ドイツ	3.2
JPMorgan EUR Liquidity LVNAV Fund - JPM EUR Liquidity LVNAV X (T0 Acc.)	ルクセンブルク	2.7
Roche Holding AG	スイス	2.5
Siemens AG	ドイツ	2.5
Novartis AG	スイス	2.5
Nestle SA	スイス	2.3
Shell plc	イギリス	2.2
ASML Holding NV	オランダ	2.0
3i Group plc	イギリス	2.0
Deutsche Telekom AG	ドイツ	1.8

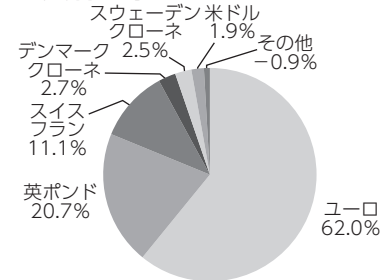
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

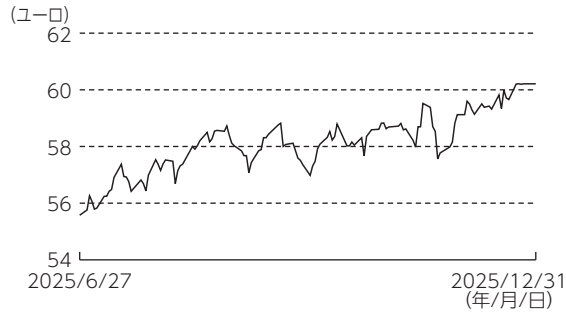
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2025年12月31日現在)

◆ウェリントン・ストラテジック・ヨーロピアン・エクイティ-EUR S

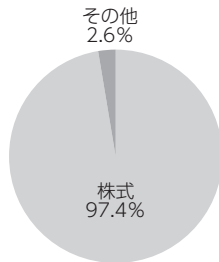
基準価額の推移 (2025年6月27日～2025年12月31日)



組入上位10銘柄 (銘柄数合計：66銘柄)

銘柄名	比率(%)
British American Tobacco PLC	5.0
Unilever PLC	4.1
Publicis Groupe SA	3.3
AIB Group PLC	3.3
Haleon PLC	3.1
Erste Group Bank AG	2.6
Smiths Group PLC	2.6
KBC Group NV	2.6
Bunzl PLC	2.5
Rheinmetall AG	2.5

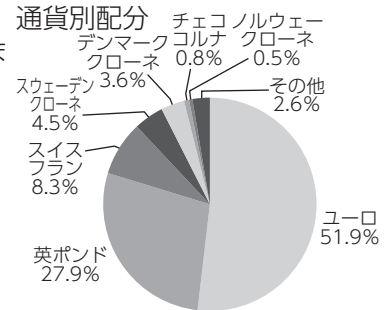
資産別配分



国・地域別配分

必要な情報が開示されておりません。

通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

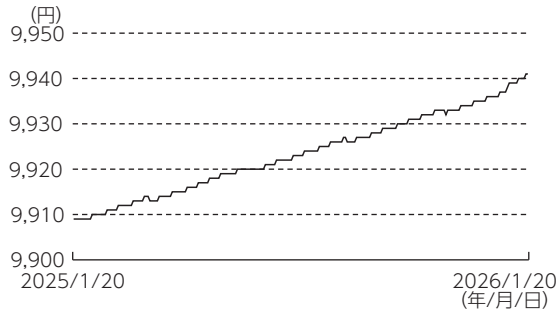
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2026年1月20日現在)

◆UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

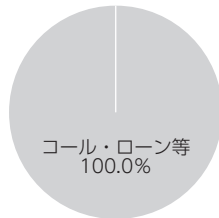
基準価額の推移 (2025年1月20日～2026年1月20日)



組入上位銘柄

2026年1月20日現在、有価証券等の組入れはありません。

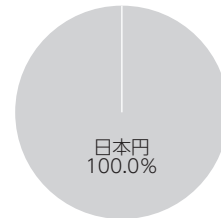
資産別配分



国・地域別配分

2026年1月20日現在、有価証券等の組入れはありません。

通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。なお、直接投資しているのはマザーファンドですが、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はその先の投資資産を表示しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/1/21～2026/1/20	
	金額	比率
信託報酬	4円	0.044%
（投信会社）	(1)	(0.011)
（販売会社）	(0)	(0.001)
（受託会社）	(3)	(0.032)
その他費用	0	0.002
（その他）	(0)	(0.002)
合計	4	0.046

※期中の平均基準価額は9,923円です。

- (注1) 「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、31ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、わが国の円建ての公社債を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、安定した利子等収益の確保と着実な信託財産の成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・日本債券ファンド

追加型／国内／債券

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	9,160円
純資産総額	20,621百万円
騰落率*	-5.0%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

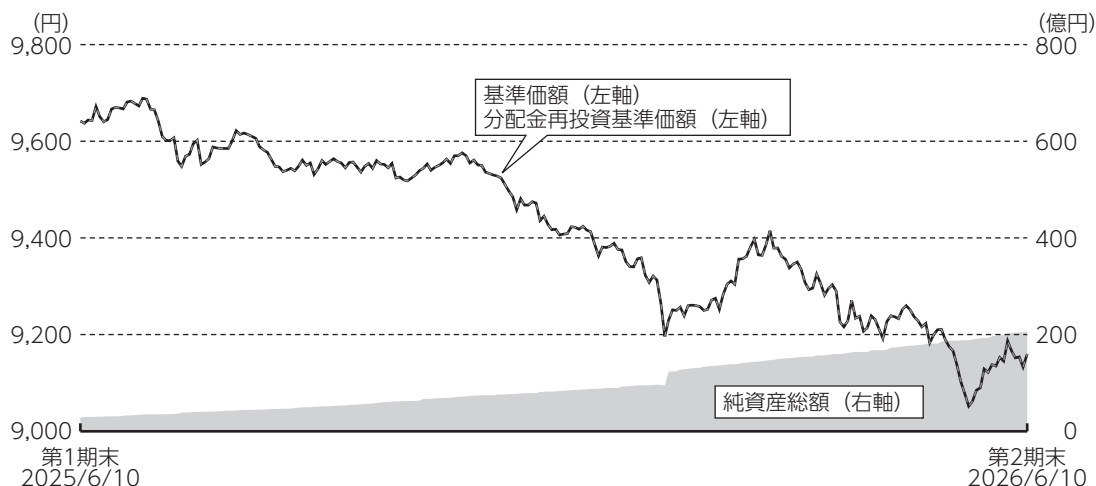


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：9,642円

第2期末：9,160円（既払分配金 0円）

騰落率：－5.0%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、わが国の円建ての公社債を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期中騰落率
One金利・クレジット型戦略ファンドⅡ（FOFs用）（適格機関投資家限定）	49.6%	－1.2%	－4.3%
明治安田FOFs用アクティブ日本債券ファンド（適格機関投資家専用）	49.3%	＋0.7%	－5.1%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%	－0.0%	0.4%

（注）組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	25円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,416円です。
（投信会社）	(22)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	2	0.022	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.009)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.012)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	27	0.286	

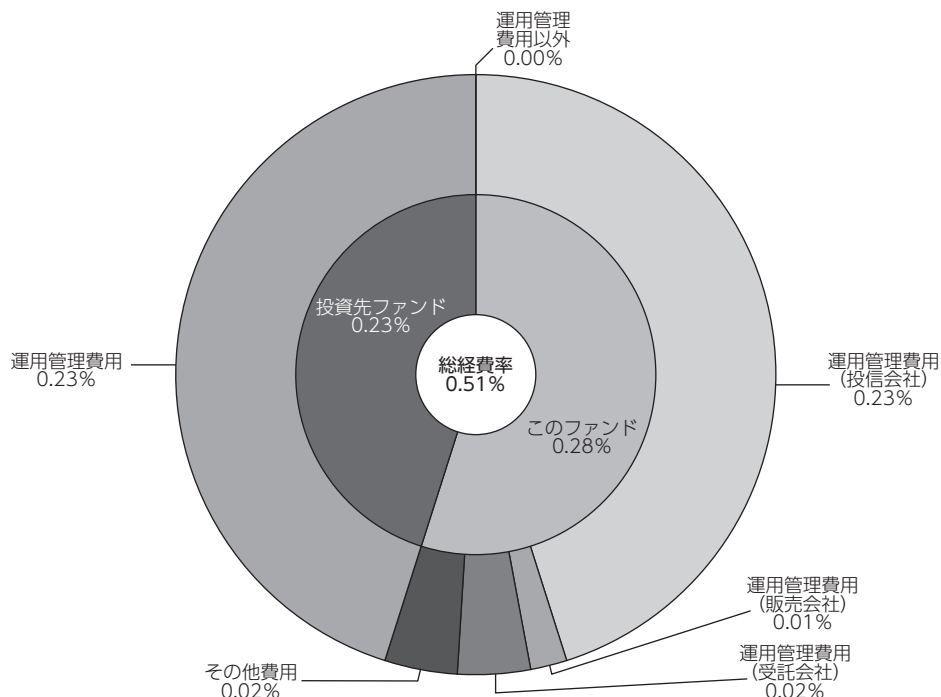
（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（注4）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



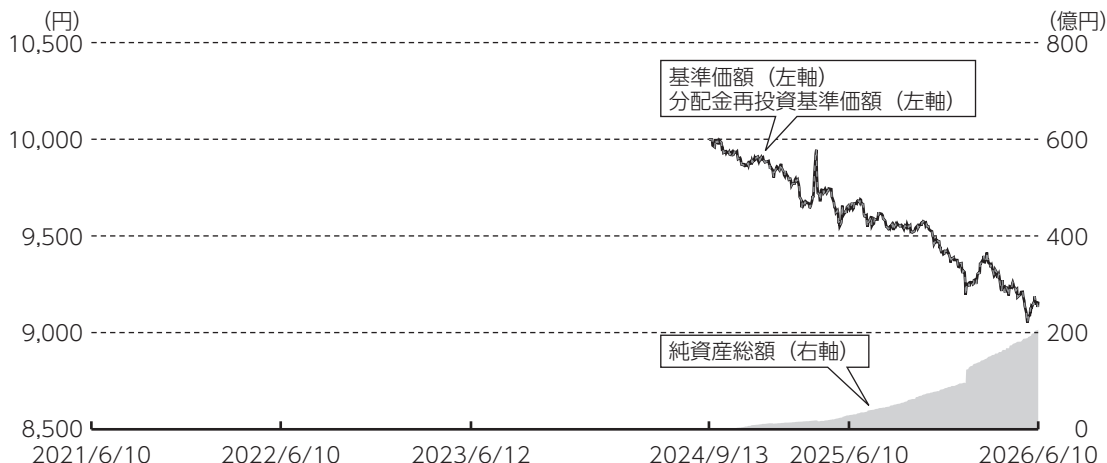
総経費率 (①+②+③)	0.51%
①このファンドの費用の比率	0.28%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.51%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日	2022年6月10日	2023年6月12日	2024年9月13日 設定日	2025年6月10日 決算日	2026年6月10日 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	9,642	9,160
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	△ 3.6	△ 5.0
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	2,877	20,621

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

日本債券市場では、長期金利が上昇（債券価格は下落）しました。期の前半は、財政拡張や国債増発への警戒感に加え、日銀の追加利上げ観測などを背景に金利上昇圧力が強まりました。期の後半には、中東情勢の緊張激化に伴う原油高やインフレ懸念も金利の上昇要因となりました。一方で、景気や物価動向を受けて日銀の追加利上げ観測が後退する局面では債券市場が下支えされましたが、期を通じてみると債券価格は下落しました。クレジット市場は、利回りを求める投資家需要に支えられ、概ね底堅く推移しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、わが国の円建ての公社債を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、安定した利子等収益の確保と着実な信託財産の成長を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日～2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	－円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、わが国の円建ての公社債を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、安定した利子等収益の確保と着実な信託財産の成長を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

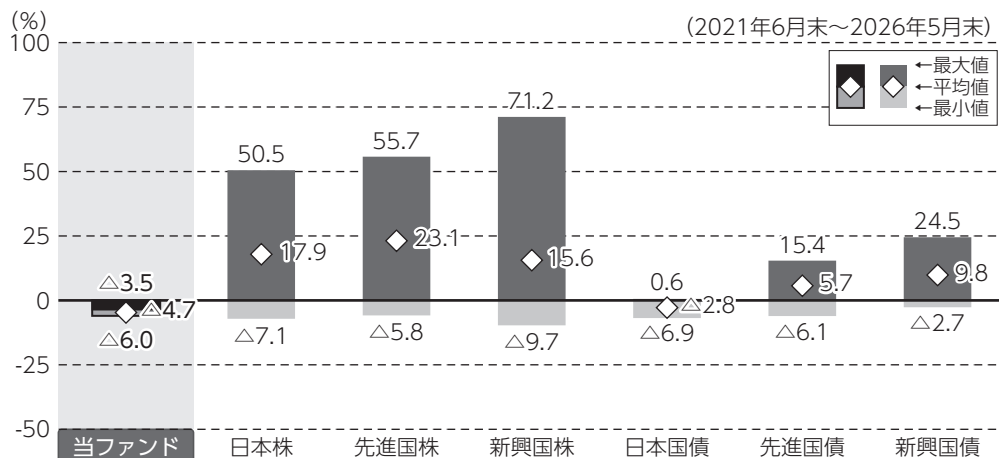
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／国内／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、わが国の円建ての公社債を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、安定した利子等収益の確保と着実な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

*騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

*騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

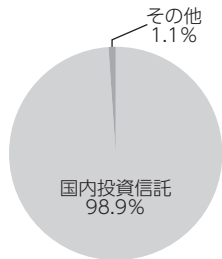
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：3銘柄）

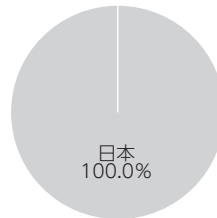
銘 柄	比率 (%)
One金利・クレジット型戦略ファンドⅡ（FOFs用）（適格機関投資家限定）	49.6
明治安田FOFs用アクティブ日本債券ファンド（適格機関投資家専用）	49.3
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

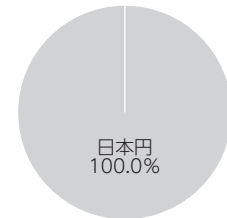
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	20,621,099,109円
受益権総口数	22,512,678,214口
1万口当たり基準価額	9,160円

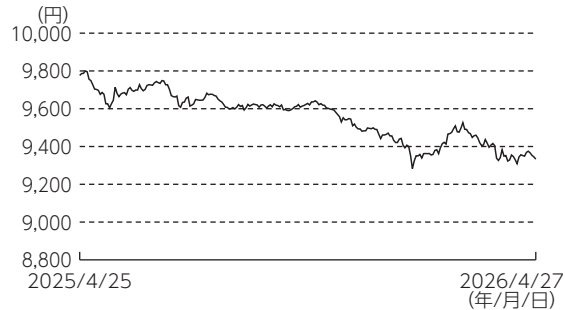
(注) 当期（第2期）中における追加設定元本額は20,175,858,152円、同解約元本額は647,125,412円です。

組入上位ファンドの概要

(2026年4月27日現在)

◆One金利・クレジット型戦略ファンドⅡ (FOFs用) (適格機関投資家限定)

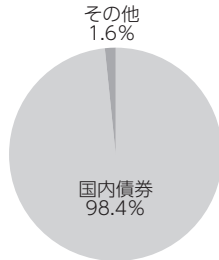
基準価額の推移 (2025年4月25日～2026年4月27日)



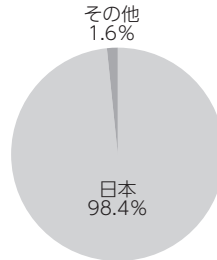
組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 249銘柄)

銘柄名	通貨	比率(%)
1 3 6 6 回 国庫短期証券	日本・円	3.6
3 7 1 回 利付国庫債券 (1 0 年)	日本・円	2.9
1 9 3 回 利付国庫債券 (2 0 年)	日本・円	2.1
3 6 7 回 利付国庫債券 (1 0 年)	日本・円	2.1
8 8 回 利付国庫債券 (3 0 年)	日本・円	2.0
2 7 回 三菱UFJFG永久劣後社債	日本・円	2.0
1 5 回 みずほフィナンシャルG 劣後社債	日本・円	1.8
2 回 武田薬品工業期限前償還条項付劣後債	日本・円	1.7
1 9 4 回 利付国庫債券 (2 0 年)	日本・円	1.4
1 5 回 三井住友FG永久劣後社債	日本・円	1.4

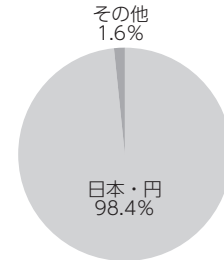
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。なお、直接投資しているのはマザーファンドですが、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はその先の投資資産を表示しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/4/26～2026/4/27	
	金額	比率
信託報酬	20円	0.204%
(投信会社)	(16)	(0.171)
(販売会社)	(1)	(0.011)
(受託会社)	(2)	(0.022)
その他費用	0	0.001
(保管費用)	(0)	(0.000)
(監査費用)	(0)	(0.001)
合計	20	0.205

※期中の平均基準価額は9,553円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、44ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

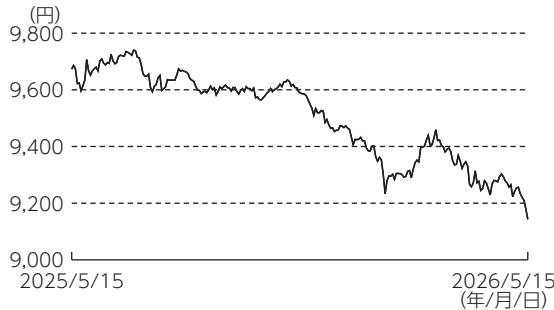
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入上位ファンドの概要

(2026年5月15日現在)

◆明治安田FOFs用アクティブ日本債券ファンド (適格機関投資家専用)

基準価額の推移 (2025年5月15日～2026年5月15日)



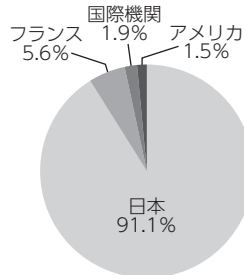
組入上位10銘柄 (銘柄数: 214銘柄)

銘柄名	種別	利率	償還日	比率(%)
第382回利付国債10年	国債	2.4%	2036年3月20日	5.0
第483回利付国債2年	国債	1.4%	2028年4月1日	3.3
第27回ルノー円貨社債	社債	2.17%	2028年11月14日	2.9
第369回利付国債10年	国債	0.5%	2032年12月20日	2.5
第196回利付国債20年	国債	3.4%	2046年3月20日	2.3
第2回武田薬品工業無担保社債 (劣後特約付)	社債	1.934%	2084年6月25日	2.2
第90回利付国債30年	国債	3.7%	2056年3月20日	2.1
第7回ソフトバンクグループ無担保社債 (劣後特約付)	社債	4.556%	2060年9月3日	2.0
第5回ソフトバンクグループ無担保社債 (劣後特約付)	社債	2.75%	2056年6月21日	1.9
第29回三菱UFJフィナンシャル・グループ無担保永久社債 (劣後特約付)	社債	2.919%	-	1.8

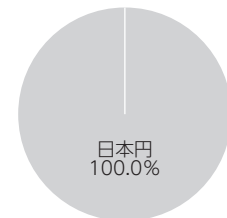
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。なお、直接投資しているのはマザーファンドですが、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はその先の投資資産を表示しております。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2025/5/16～2026/5/15	
	金額	比率
信託報酬	25円	0.264%
(投信会社)	(22)	(0.231)
(販売会社)	(1)	(0.011)
(受託会社)	(2)	(0.022)
売買委託手数料	0	0.000
(先物・オプション)	(0)	(0.000)
その他費用	0	0.003
(保管費用)	(0)	(0.001)
(監査費用)	(0)	(0.002)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	25	0.267

※期中の平均基準価額は9,503円です。

- (注1) 「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、44ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◆UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) 41ページをご参照ください。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、世界各国の公社債を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、安定した利子等収益の確保および着実な信託財産の成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・世界債券ファンド

追加型／内外／債券

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	11,622円
純資産総額	10,656百万円
騰落率*	12.5%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

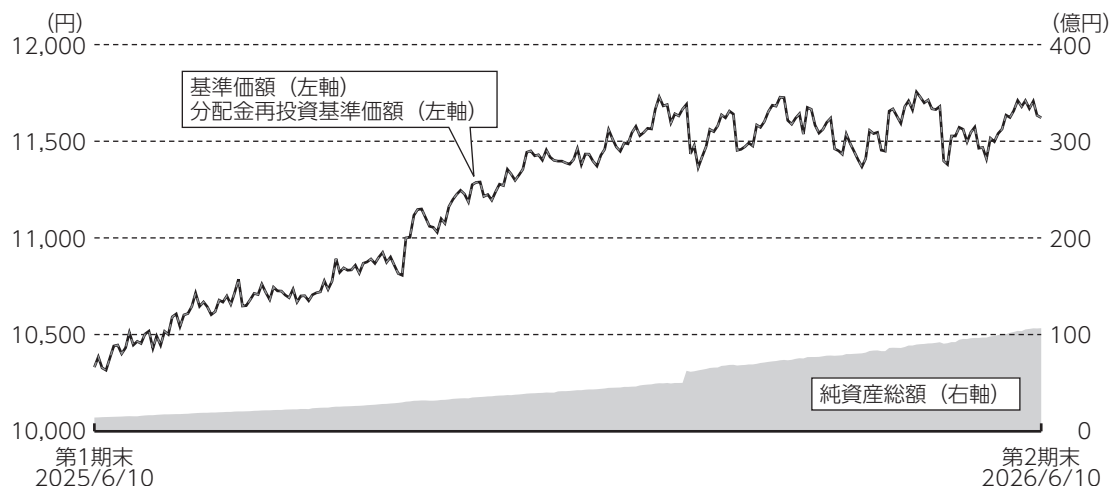


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：10,332円

第2期末：11,622円（既払分配金 0円）

騰落率： 12.5%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の公社債を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期間中騰落率
PIMCOファンズ・グローバル・インベスターズ・シリーズPLC－グローバル・ボンド・ファンド－INSTITUTIONAL USD	99.2%	+99.2%	－1.1%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%	－0.0%	0.4%

(注1) 組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 「PIMCOファンズ・グローバル・インベスターズ・シリーズPLC－グローバル・ボンド・ファンド－INSTITUTIONAL USD」の当期間中騰落率は、2025年12月22日から期末までの期間で算出しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	30円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は11,249円です。
（投信会社）	(26)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.034	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.012)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	34	0.298	

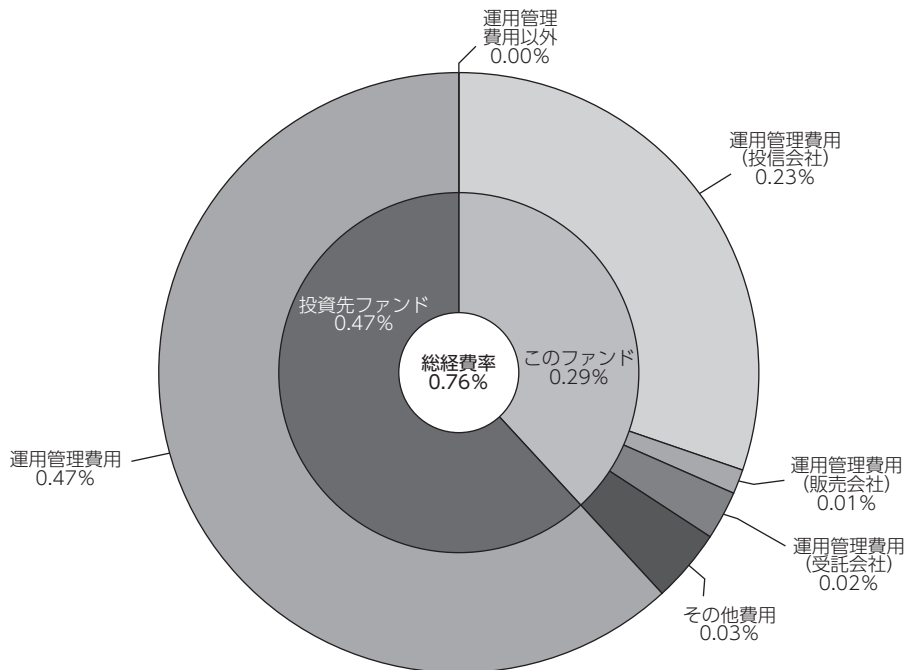
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	0.76%
①このファンドの費用の比率	0.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.47%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。
- (注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.76%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日	2022年6月10日	2023年6月12日	2024年9月13日	2025年6月10日	2026年6月10日
	—	—	—	設定日	決算日	決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	10,332	11,622
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	3.3	12.5
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	1,427	10,656

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境について

世界債券市場では、欧米長期金利が上昇（債券価格は下落）しました。米国では、底堅い景気動向やインフレ懸念に加え、金融政策を巡る不透明感などから金利が上昇しました。欧州では、インフレの鈍化を受けて債券市場が堅調となる局面もありましたが、景気回復期待や金利先高観などが重石となり、全体としては金利上昇圧力が優勢となりました。為替市場では、日米の金融政策や金利動向を巡る思惑から変動したものの、期を通じてみると米ドル高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、世界各国の公社債を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、安定した利子等収益の確保および着実な信託財産の成長を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。この結果、当期は組入れの指定投資信託証券の一部入替えを行いました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日~2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	1,622円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、世界各国の公社債を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、安定した利子等収益の確保および着実な信託財産の成長を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

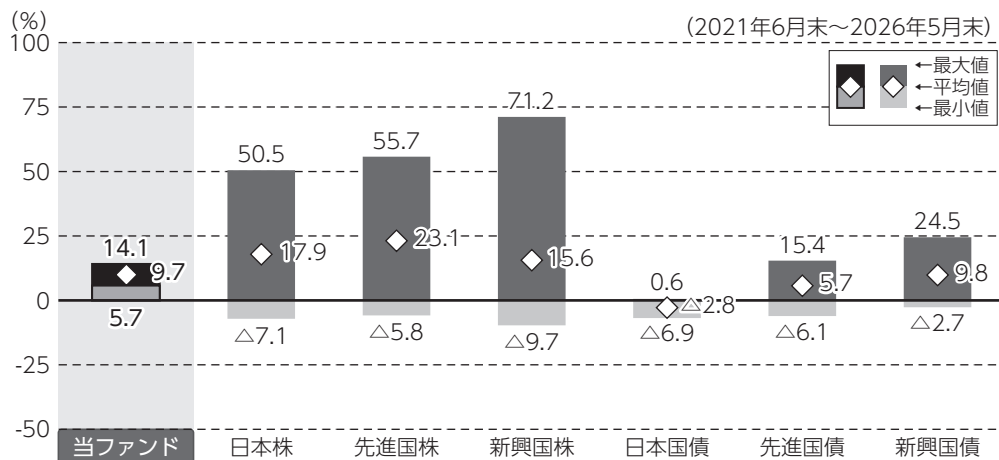
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／内外／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、世界各国の公社債を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、安定した利子等収益の確保および着実な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

*騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

*騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

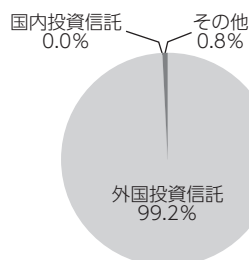
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：2銘柄）

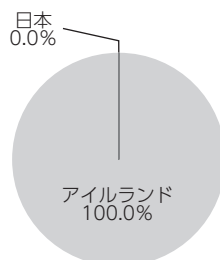
銘 柄	比率 (%)
PIMCOファンズ・グローバル・インベスターズ・シリーズPLC-グローバル・ボンド・ファンド-INSTITUTIONAL USD	99.2
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

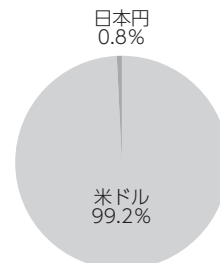
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

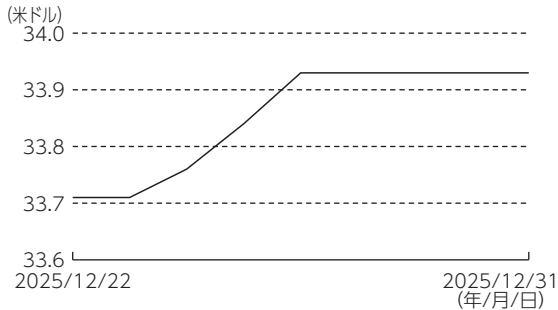
純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	10,656,593,873円
受益権総口数	9,169,040,227口
1万口当たり基準価額	11,622円

(注) 当期（第2期）中における追加設定元本額は8,071,037,793円、同解約元本額は283,740,787円です。

組入上位ファンドの概要

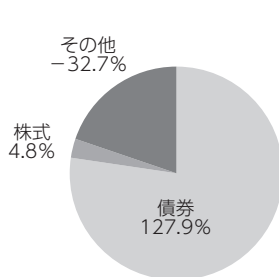
(2025年12月31日現在)

◆PIMCOファンズ・グローバル・インベスターズ・シリーズPLC－グローバル・ボンド・ファンド－INSTITUTIONAL USD
基準価額の推移 (2025年12月22日～2025年12月31日)

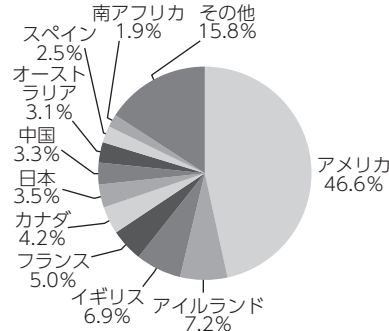
組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 1,204銘柄)

銘柄名	種別	国/地域	比率(%)
Uniform Mortgage-Backed Security, TBA 5.000% due 01/01/2056 - 01/02/2056	米国政府機関債	アメリカ	13.1
Uniform Mortgage-Backed Security, TBA 6.500% due 01/02/2056 - 01/03/2056	米国政府機関債	アメリカ	11.3
Uniform Mortgage-Backed Security, TBA 6.000% due 01/02/2056 - 01/03/2056	米国政府機関債	アメリカ	5.1
U.S. Treasury Bonds 4.500% due 15/11/2054	米国債	アメリカ	3.4
Ginnie Mae 3.500% due 20/07/2052 - 20/07/2055	米国政府機関債	アメリカ	3.2
Ginnie Mae, TBA 6.500% due 01/02/2056	米国政府機関債	アメリカ	3.0
United Kingdom Gilt 4.375% due 07/03/2030	ソブリン債	イギリス	2.7
PIMCO ETFs plc - PIMCO US Dollar Short Maturity UCITS ETF	上場投資信託	アイルランド	2.5
France Government International Bond 2.750% due 25/02/2030	ソブリン債	フランス	2.4
PIMCO ETFs plc - PIMCO Euro Short Maturity UCITS ETF	上場投資信託	アイルランド	2.3

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されておりません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

◆UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け） 41ページをご参照ください。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、世界各国のハイ・イールド債券（低格付債）を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、利子等収益の確保および信託財産の成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・ハイ・イールド債券ファンド

追加型／内外／債券

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	12,591円
純資産総額	785百万円
騰落率*	18.0%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

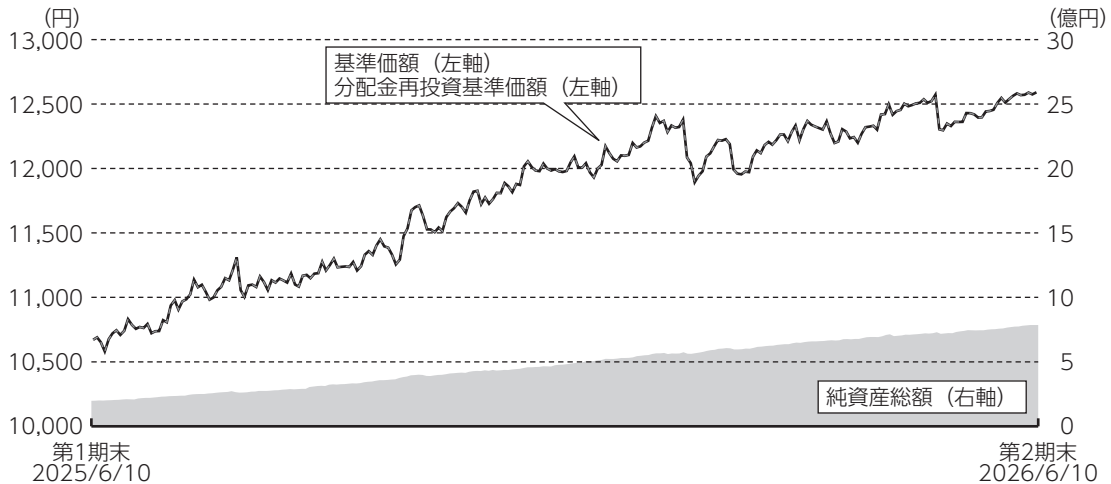


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：10,671円

第2期末：12,591円（既払分配金 0円）

騰落率：18.0%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国のハイ・イールド債券（低格付債）を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期間中騰落率
ノムラ・ファンズ・アイルランドーUSハイ・イールド・ボンド・ファンドーI USD	85.1%	+1.4%	7.2%
NYLI GF USハイ・イールド・コーポレート・ボンドーPI USD	14.2%	−1.5%	5.7%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%	−0.0%	0.4%

（注）組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	31円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は11,832円です。
（投信会社）	(27)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	9	0.077	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.045)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.015)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.015)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	40	0.341	

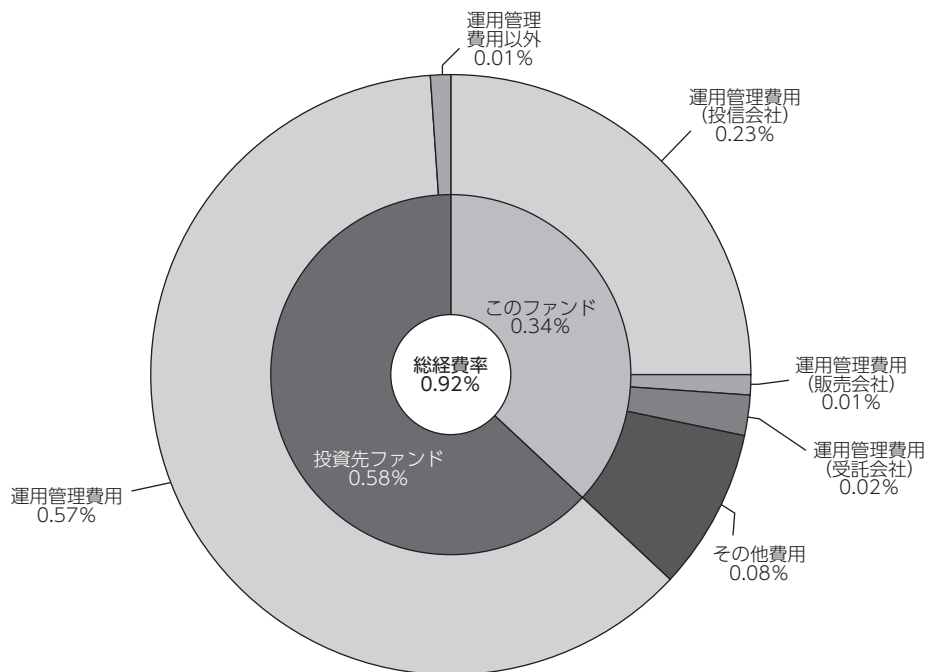
（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（注4）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	0.92%
①このファンドの費用の比率	0.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。
- (注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.92%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日	2022年6月10日	2023年6月12日	2024年9月13日	2025年6月10日	2026年6月10日
	—	—	—	設定日	決算日	決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	10,671	12,591
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	6.7	18.0
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	197	785

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

世界ハイ・イールド債券市場は上昇しました。米国を中心とした底堅い景気動向や企業業績に加え、人工知能（AI）関連投資の拡大期待が追い風となりました。期中は、通商政策を巡る不透明感や中東情勢の緊張激化を受けてリスク回避の動きが強まり、軟調となる局面もありましたが、その後は緊張緩和期待や高利回り資産への需要に支えられて反発しました。為替市場では、日米の金融政策や金利動向を巡る思惑から変動したものの、期を通じてみると米ドル高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、世界各国のハイ・イールド債券（低格付債）を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、利子等収益の確保および信託財産の成長を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日~2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,591円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、世界各国のハイ・イールド債券（低格付債）を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、利子等収益の確保および信託財産の成長を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

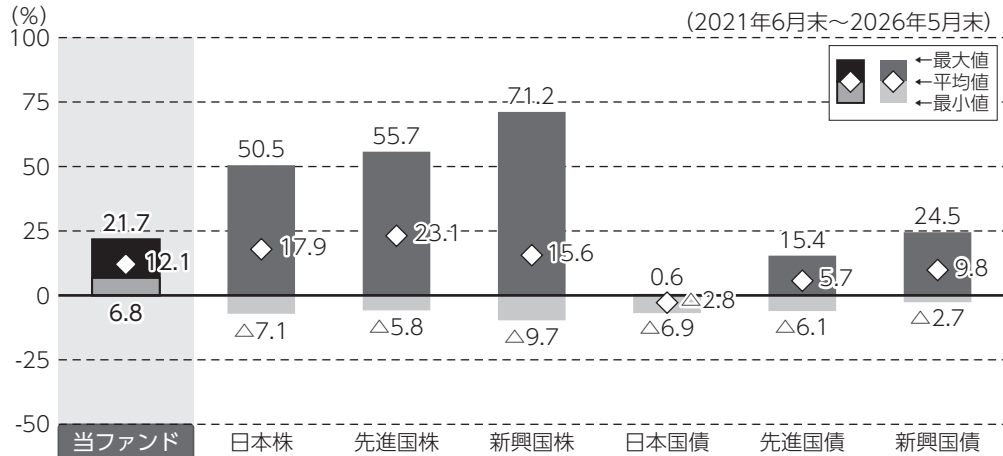
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／内外／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、世界各国のハイ・イールド債券（低格付債）を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、利子等収益の確保および信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- * 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

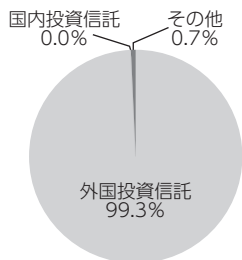
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：3銘柄）

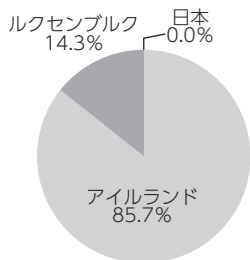
銘 柄	比率 (%)
ノムラ・ファンズ・アイルランドーUSハイ・イールド・ボンド・ファンドーI USD	85.1
NYLI GF USハイ・イールド・コーポレート・ボンドーPI USD	14.2
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

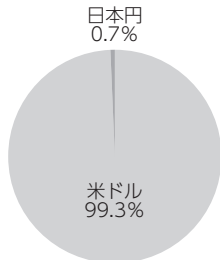
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	785,939,182円
受益権総口数	624,205,574口
1万口当たり基準価額	12,591円

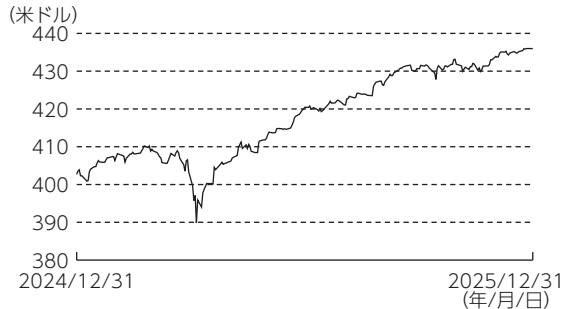
(注) 当期（第2期）中における追加設定元本額は514,648,820円、同解約元本額は75,951,036円です。

組入上位ファンドの概要

(2025年12月31日現在)

◆ノムラ・ファンズ・アイルランドーUSハイ・イールド・ボンド・ファンドーI USD

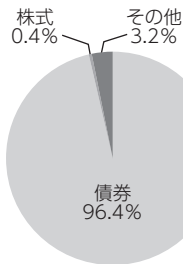
基準価額の推移 (2024年12月31日～2025年12月31日)



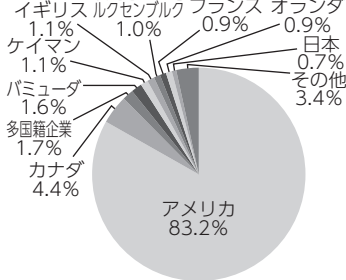
組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 1,322銘柄)

銘柄名	種別	国／地域	比率(%)
1261229 BC Ltd, 10.000%, 15/04/32 144A	債券	カナダ	0.5
TransDigm Inc, 6.375%, 31/05/33 144A	債券	アメリカ	0.5
CCO Holdings LLC/CCO Holdings Capital Corp, 4.750%, 01/02/32 144A	債券	アメリカ	0.4
Allied Universal Holdco LLC/Allied Universal Finance Corp, 6.000%, 01/06/29 144A	債券	アメリカ	0.4
AthenaHealth Group Inc, 6.500%, 15/02/30 144A	債券	アメリカ	0.4
Directv Financing LLC/Directv Financing Co-Obligor Inc, 10.000%, 15/02/31 144A	債券	アメリカ	0.4
CCO Holdings LLC/CCO Holdings Capital Corp, 5.125%, 01/05/27 144A	債券	アメリカ	0.4
Coinbase Global Inc, 3.375%, 01/10/28 144A	債券	アメリカ	0.4
Imola Merger Corp, 4.750%, 15/05/29 144A	債券	アメリカ	0.4
Cloud Software Group Inc, 9.000%, 30/09/29 144A	債券	アメリカ	0.4

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されておられません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

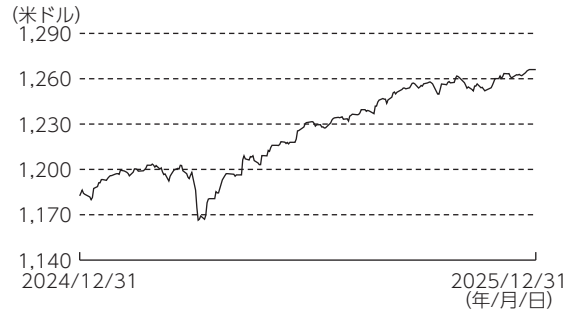
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2025年12月31日現在)

◆NYLI GF USハイ・イールド・コーポレート・ボンドーPI USD

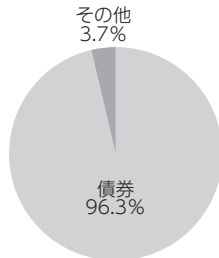
基準価額の推移 (2024年12月31日～2025年12月31日)



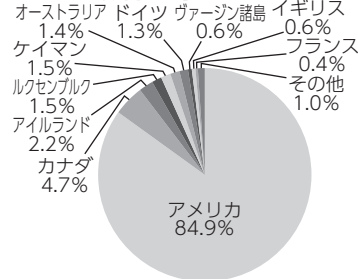
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：321銘柄)

銘柄名	種別	国／地域	比率(%)
CCO HLDG LLC/CAPITAL 4.5 21-32 01/05S	債券	アメリカ	1.5
TIBCO SOFTWARE 6.5 22-29 31/03S	債券	アメリカ	1.2
JANE STREET GROUP JS 7.125 24-31 30/04S	債券	アメリカ	1.1
JAZZ SECURITIES DAC 4.375 21-29 15/01S	債券	アイルランド	1.0
KFC/PIZZA HUT/TACO 4.75 17-27 01/06S06S	債券	アメリカ	1.0
PRESTIGE BRANDS 5.1250 19-28 15/01S	債券	アメリカ	1.0
RITCHIE BROS HOL 7.75 23-31 15/03S	債券	アメリカ	0.9
UKG IN 6.8750 24-31 01/02S	債券	アメリカ	0.9
HILTON DOMESTIC 4.875 19-30 15/01S	債券	アメリカ	0.8
ORGANON FINANCE 4.1250 21-28 30/04S	債券	アメリカ	0.8

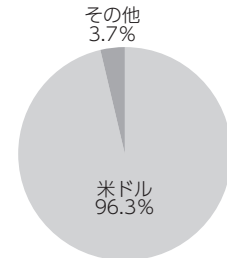
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

◆UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け） 41ページをご参照ください。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、オルタナティブ戦略・資産で運用を行う投資信託証券への投資を通じて、絶対収益^(注)の獲得を目指して運用を行います。なお、組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

(注)「絶対収益」とは、必ず収益を得るという意味ではなく、市場等の動きに左右されない(相対的でない)収益、という意味です。

当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・オルタナティブファンド

追加型／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	10,440円
純資産総額	13,121百万円
騰落率*	1.2%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

<閲覧方法>

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

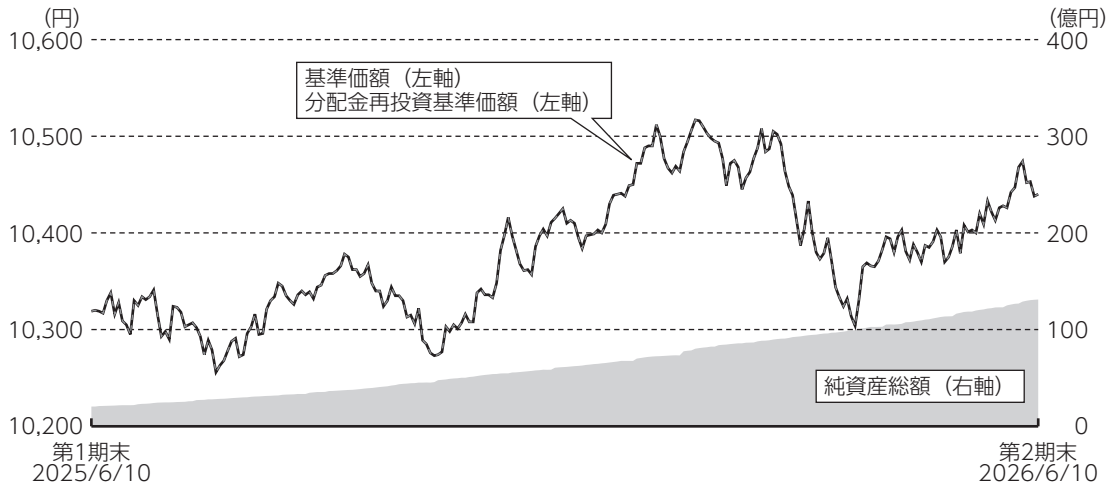
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：10,319円

第2期末：10,440円（既払分配金 0円）

騰落率： 1.2%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、オルタナティブ戦略・資産で運用を行う投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期間中騰落率
アビバ・インベスターズ・マルチストラテジー・ターゲット・リターン・ファンドーMH USD	25.3%	－3.4%	3.7%
ジュピター・メリアン・グローバル・エクイティ・アブソリュート・リターン・ファンドーI USD	20.5%	－15.2%	10.8%
ラザード・ラスモア・オルタナティブ・ファンドーZ USD	19.7%	＋14.3%	8.4%
UBS (Irl) インベスター・セクション・グローバル・エクイティ・ロング・ショート・ファンドーUSD I A3 PF	15.3%	－14.9%	－3.2%
ヘプタゴン・ケトルヒル US ロング・ショート株式ファンドーY1 USD	10.0%	＋10.0%	10.6%
ニューバーガー・バーマン US ロング・ショート・エクイティ・ファンドーI3 USD	9.2%	＋9.2%	4.1%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%	－0.0%	0.4%

(注1) 組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 「ヘプタゴン・ケトルヒル US ロング・ショート株式ファンドーY1 USD」の当期間中騰落率は、2025年6月30日から期末までの期間で算出しております。

(注3) 「ニューバーガー・バーマン US ロング・ショート・エクイティ・ファンドーI3 USD」の当期間中騰落率は、2025年6月27日から期末までの期間で算出しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	27円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は10,383円です。
（投信会社）	(24)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.042	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(1)	(0.013)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(2)	(0.021)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	31	0.306	

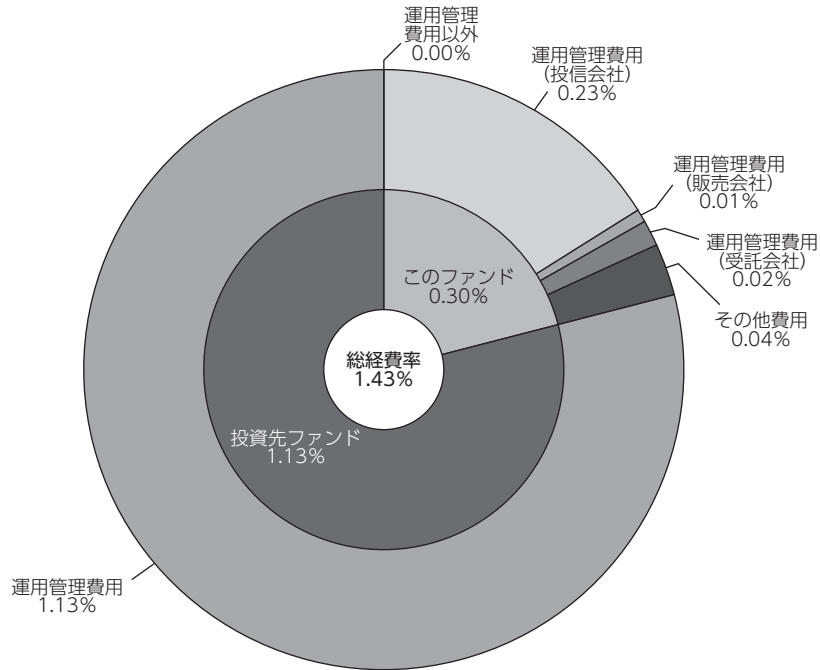
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	1.43%
①このファンドの費用の比率	0.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.13%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注4) 各比率は、年率換算した値です。
(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
(注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。
(注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.43%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日	2022年6月10日	2023年6月12日	2024年9月13日 設定日	2025年6月10日 決算日	2026年6月10日 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	10,319	10,440
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	3.2	1.2
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	2,047	13,121

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

世界金融市場では、株式が上昇、債券は下落（金利は上昇）しました。株式は、人工知能（AI）関連投資の拡大期待や企業業績の底堅さを背景に、米国を中心として堅調に推移しました。期中は、通商政策を巡る不透明感や中東情勢の緊張激化を受けて一時的に調整する局面もありましたが、その後は緊張緩和期待を背景に反発しました。一方、債券は、インフレ懸念や金融政策を巡る不透明感などから振るわない動きとなり、欧米を中心に長期金利は上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、オルタナティブ戦略・資産で運用を行う投資信託証券への投資を通じて、絶対収益の獲得を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。この結果、当期は組入れの指定投資信託証券を新規に2本追加しました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日~2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	439円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、オルタナティブ戦略・資産で運用を行う投資信託証券への投資を通じて、絶対収益の獲得を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

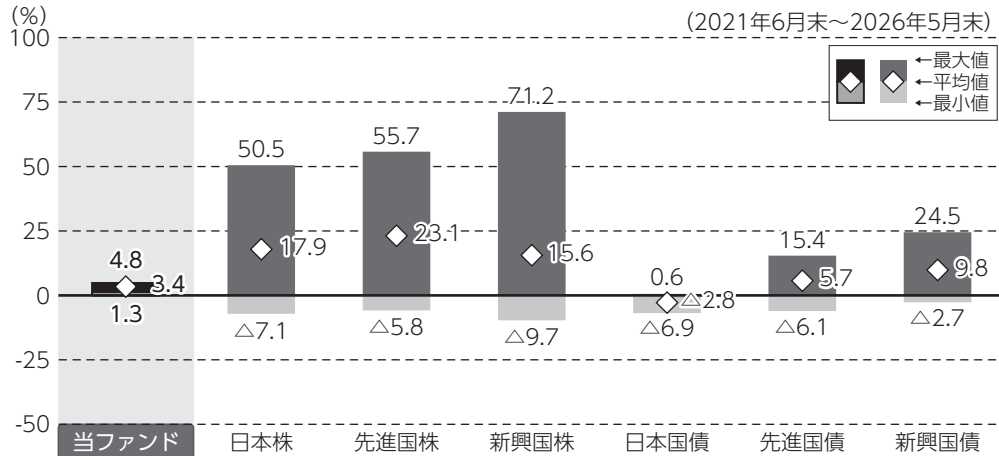
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）
信託期間	無期限
運用方針	主として、オルタナティブ戦略・資産で運用を行う投資信託証券への投資を通じて、絶対収益^(注)の獲得を目指して運用を行います。 (注) 「絶対収益」とは、必ず収益を得るという意味ではなく、市場等の動きに左右されない（相対的でない）収益、という意味です。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- * 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

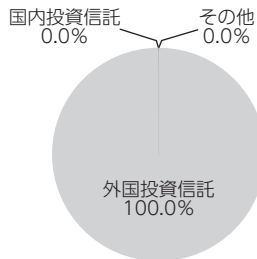
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：7銘柄）

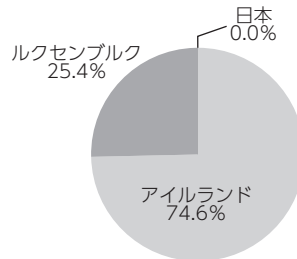
銘 柄	比率 (%)
アビバ・インベスターズ・マルチ・ストラテジー・ターゲット・リターン・ファンドーMH USD	25.3
ジュピター・メリアン・グローバル・エクイティ・アブソリュート・リターン・ファンドーI USD	20.5
ラザード・ラスモア・オルタナティブ・ファンドーZ USD	19.7
UBS (Irl) インベスター・セレクション・グローバル・エクイティ・ロング・ショート・ファンドーUSD I A3 PF	15.3
ヘプタゴン・ケトルヒル US ロング・ショート株式ファンドーY1 USD	10.0
ニューバーガー・バーマン US ロング・ショート・エクイティ・ファンドーI3 USD	9.2
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

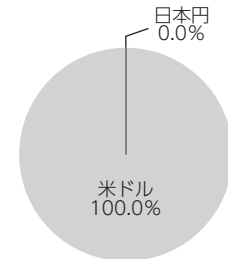
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	13,121,824,660円
受益権総口数	12,568,985,600口
1万口当たり基準価額	10,440円

(注) 当期（第2期）中における追加設定元本額は10,958,246,295円、同解約元本額は373,224,849円です。

組入上位ファンドの概要

(2024年12月31日現在)

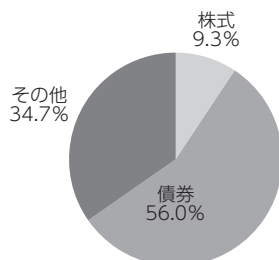
◆アビバ・インベスターズ・マルチ・ストラテジー・ターゲット・リターン・ファンドーMH USD
基準価額の推移

2024年12月31日以前の基準価額は存在しないため、基準価額の推移を表示できません。

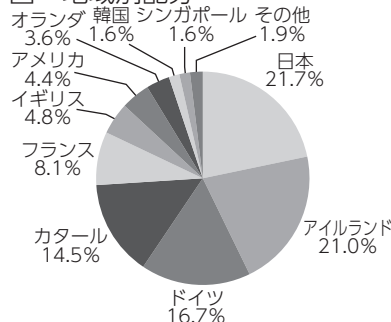
組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 304銘柄)

銘柄名	種別	国/地域	比率(%)
LANDESBANK BADENWUERTTEMBERG EURO 2.92% 02/01/2025	債券	ドイツ	15.7
QATAR NATIONAL BANK QPSC EURO 2.93% 02/01/2025	債券	カタール	14.2
Aviva Investors Liquidity Funds plc - Euro Liquidity Fund	集団投資スキーム	アイルランド	6.2
Anglesea Funding Plc 0% 01/10/2025	コマーシャルペーパー	アイルランド	4.7
Anglesea Funding Plc 0% 01/03/2025	コマーシャルペーパー	アイルランド	4.7
Sumitomo Mitsui Banking Corp. 0% 02/13/2025	譲渡性預金	日本	4.7
SMBC BANK INTERNATIONAL plc EURO 2.88% 02/01/2025	債券	イギリス	3.9
Satellite SASU 0% 01/20/2025	コマーシャルペーパー	フランス	3.9
Mitsubishi UFJ Trust & Banking Corp. 0% 02/03/2025	譲渡性預金	日本	3.9
Sumitomo Mitsui Banking Corp. 0% 02/03/2025	譲渡性預金	日本	3.9

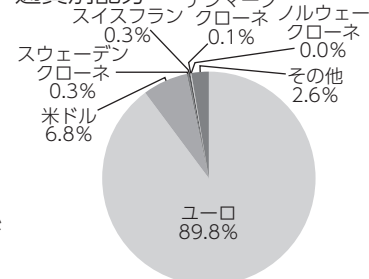
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



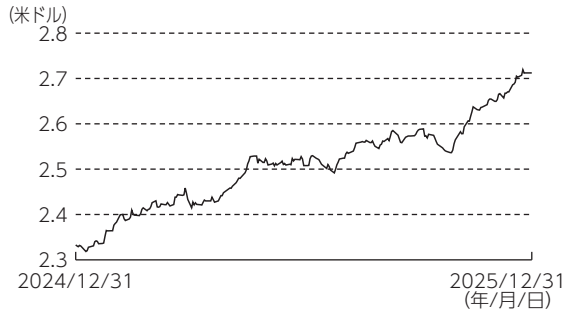
- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

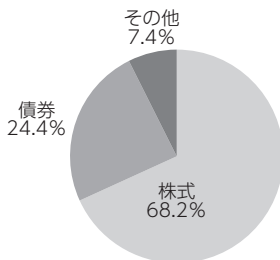
(2025年12月31日現在)

◆ジュピター・メリアン・グローバル・エクイティ・アブソリュート・リターン・ファンドーI USD
基準価額の推移 (2024年12月31日～2025年12月31日)

組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 378銘柄)

銘柄名	種別	比率(%)
United States Treasury Bill 0.00 06/01/2026	国債	3.0
United States Treasury Bill 0.00 13/01/2026	国債	3.0
United States Treasury Bill 0.00 15/01/2026	国債	3.0
United States Treasury Bill 0.00 20/01/2026	国債	3.0
United States Treasury Bill 0.00 22/01/2026	国債	3.0
United States Treasury Bill 0.00 29/01/2026	国債	3.0
United States Treasury Bill 0.00 05/02/2026	国債	3.0
United States Treasury Bill 0.00 19/02/2026	国債	3.0
Citigroup, Inc.	普通株式	1.0
ASML Holding NV (DR)	普通株式	1.0

資産別配分



国・地域別配分

必要な情報が開示されておりません。

通貨別配分

必要な情報が開示されておりません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

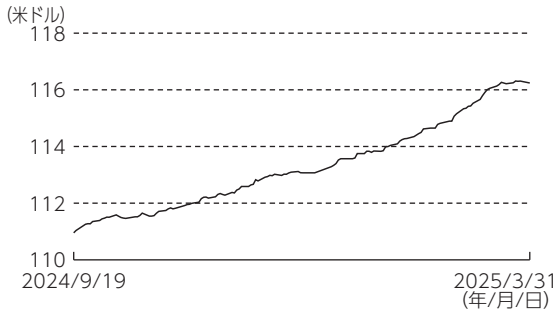
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2025年3月31日現在)

◆ラザード・ラスモア・オルタナティブ・ファンドーZ USD

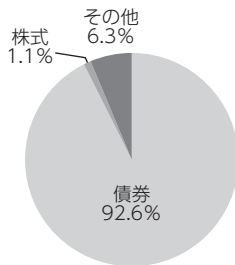
基準価額の推移 (2024年9月19日～2025年3月31日)



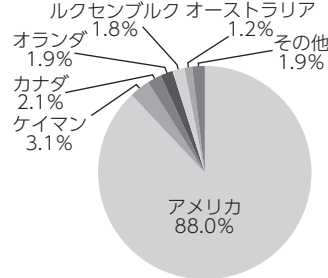
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：228銘柄)

銘柄名	国／地域	比率(%)
United States Treasury Bill 0 20/05/2025	アメリカ	5.9
United States Treasury Bill 0 03/06/2025	アメリカ	4.6
United States Treasury Bill 0 14/08/2025	アメリカ	4.3
United States Treasury Bill 0 22/04/2025	アメリカ	3.8
United States Treasury Bill 0 24/06/2025	アメリカ	3.6
United States Treasury Bill 0 13/05/2025	アメリカ	3.2
United States Treasury Bill 0 26/06/2025	アメリカ	2.5
United States Treasury Bill 0 01/04/2025	アメリカ	2.1
Dexcom Inc 0.25 15/11/2025	アメリカ	1.9
Marriott Vacations Worldwide Corp 0 15/01/2026	アメリカ	1.9

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されていません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、世界各国のリートおよび不動産関連株を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、配当等収益の確保と信託財産の成長を目指して分散投資を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・世界リートファンド

追加型／内外／資産複合

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	12,183円
純資産総額	7,826百万円
騰落率*	21.7%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

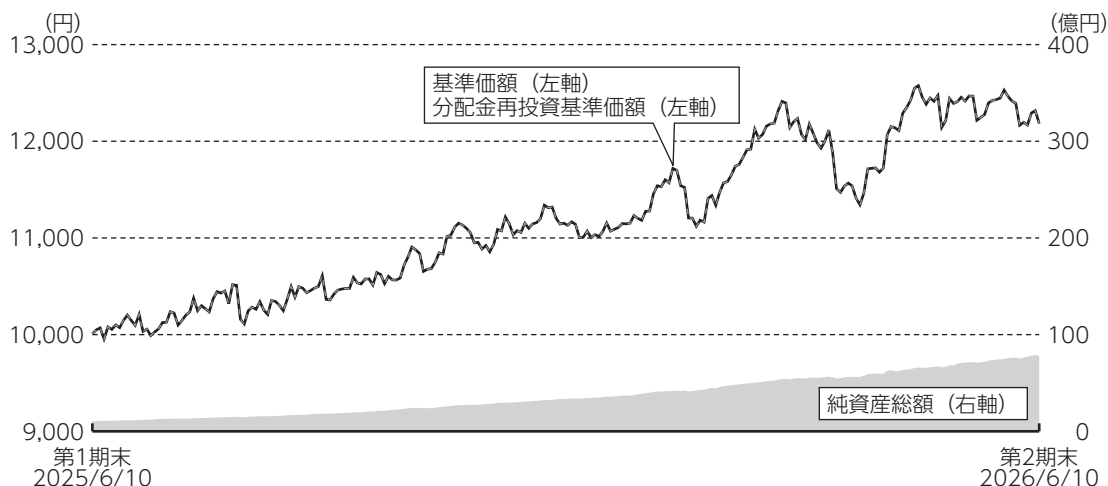
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：10,007円

第2期末：12,183円（既払分配金 0円）

騰落率： 21.7%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国のリートおよび不動産関連株を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期中騰落率
コヘン&スティアーズ SICAV-グローバル・リアル・エーステート・セキュリティーズ・ファンド-F USD	99.6%	+2.6%	10.2%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%	-0.0%	0.4%

（注）組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11~2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	30円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は11,231円です。
（投信会社）	(26)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.040	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.013)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.015)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.012)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	34	0.304	

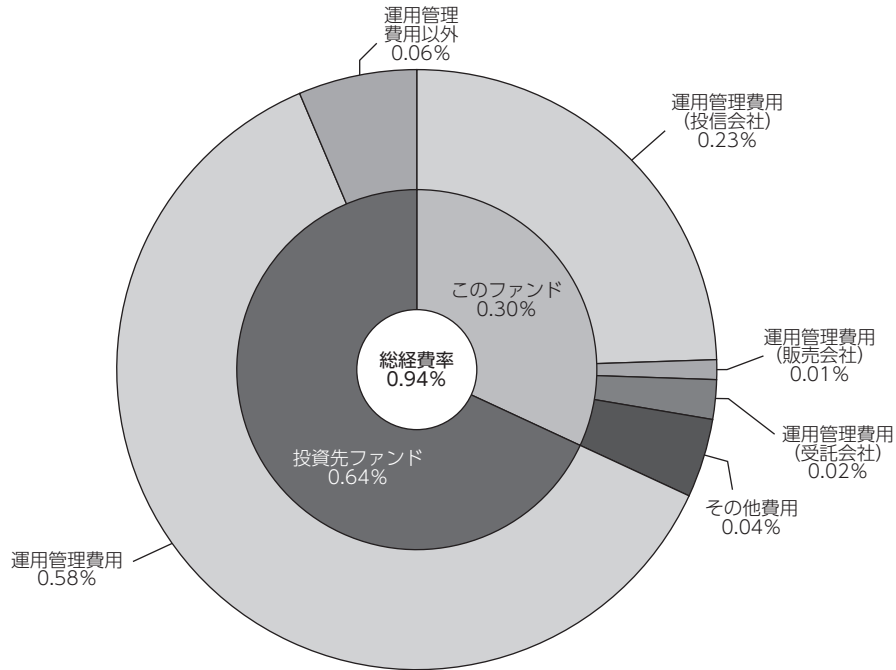
（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（注4）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	0.94%
①このファンドの費用の比率	0.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日 —	2022年6月10日 —	2023年6月12日 —	2024年9月13日 設定日	2025年6月10日 決算日	2026年6月10日 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	10,007	12,183
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	0.1	21.7
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	1,040	7,826

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

世界リート市場は上昇しました。期の前半は、主要国・地域における利下げ期待や底堅い景気動向が支援材料となり、概ね堅調に推移しました。期中は、通商政策を巡る不透明感や中東情勢の緊張激化を受けて軟調となる局面もありましたが、その後は緊張緩和期待や不動産市場を取り巻く環境の安定化期待に支えられて反発しました。為替市場では、日米の金融政策や金利動向を巡る思惑から変動したものの、期を通じてみると米ドル高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、世界各国のリートおよび不動産関連株を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、配当等収益の確保と信託財産の成長を目指して分散投資を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日~2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,183円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、世界各国のリートおよび不動産関連株を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、配当等収益の確保と信託財産の成長を目指して分散投資を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

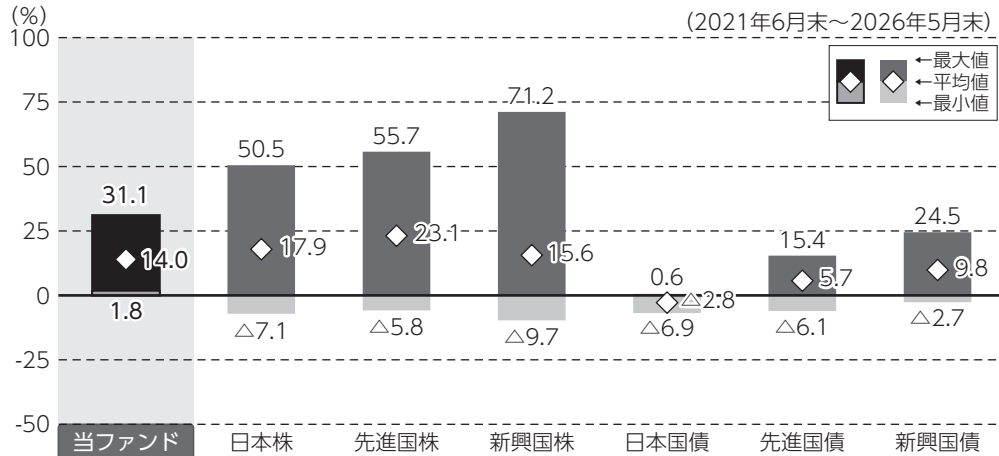
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	主として、世界各国のリートおよび不動産関連株を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、配当等収益の確保と信託財産の成長を目指して分散投資を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- *全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- *2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- *騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- *騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

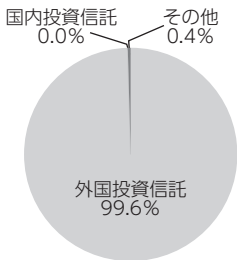
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：2銘柄）

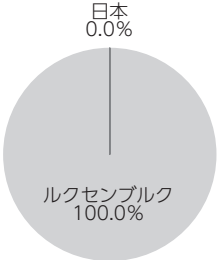
銘 柄	比率 (%)
コヘン&スティアーズ SICAV－グローバル・リアル・エーステート・セキュリティーズ・ファンド－F USD	99.6
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

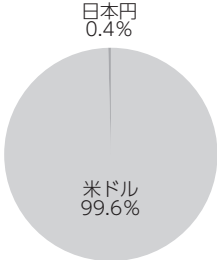
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



（注1）「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注2）組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

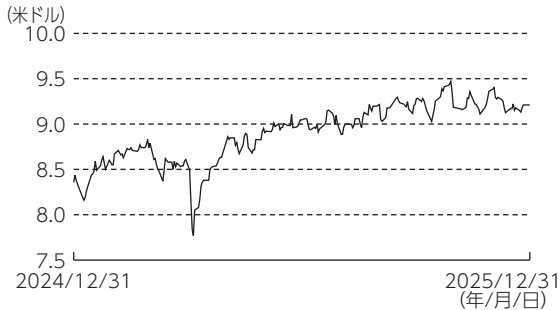
純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	7,826,657,331円
受益権総口数	6,424,067,635口
1万口当たり基準価額	12,183円

（注）当期（第2期）中における追加設定元本額は5,668,574,139円、同解約元本額は284,396,036円です。

組入上位ファンドの概要

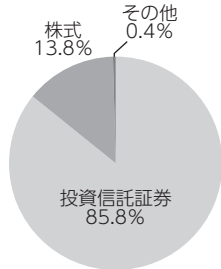
(2025年12月31日現在)

◆コヘン&スティアーズ SICAV－グローバル・リアル・エスレート・セキュリティーズ・ファンド－F USD
基準価額の推移 (2024年12月31日～2025年12月31日)

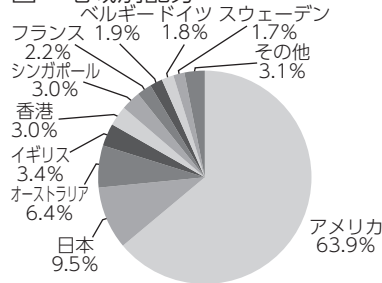
組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 83銘柄)

銘柄名	種別	国/地域	比率(%)
Welltower, Inc.	不動産投信	アメリカ	9.6
Digital Realty Trust, Inc.	不動産投信	アメリカ	5.1
Prologis, Inc.	不動産投信	アメリカ	4.9
Essex Property Trust, Inc.	不動産投信	アメリカ	4.3
Agree Realty Corp.	不動産投信	アメリカ	4.0
Equinix, Inc.	不動産投信	アメリカ	3.4
Goodman Group	不動産投信	オーストラリア	3.1
Extra Space Storage, Inc.	不動産投信	アメリカ	2.7
Invitation Homes, Inc.	不動産投信	アメリカ	2.7
Host Hotels & Resorts, Inc.	不動産投信	アメリカ	2.5

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されておりません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

◆UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) 41ページをご参照ください。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、新興国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・エマージング株式ファンド

追加型／海外／株式

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	18,166円
純資産総額	5,767百万円
騰落率*	57.9%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

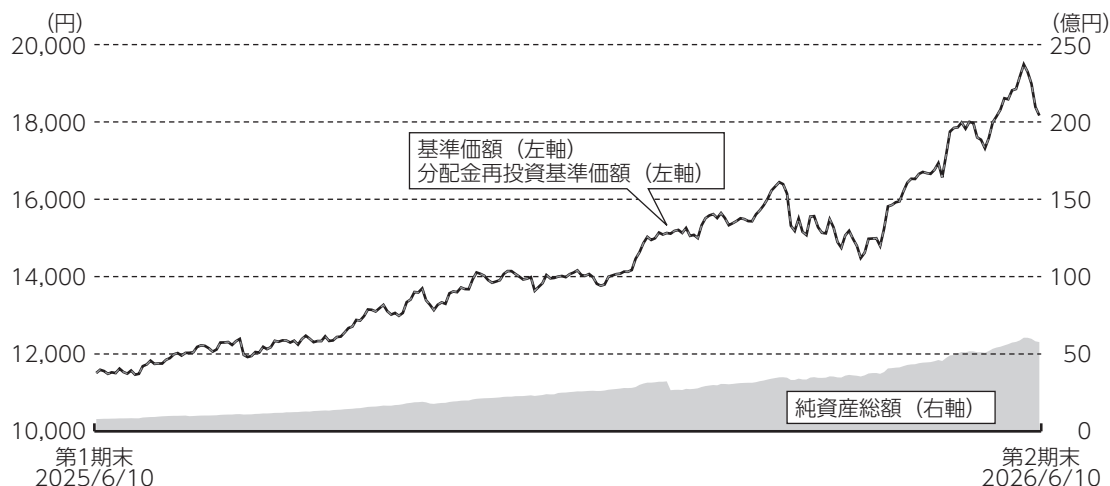


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：11,507円

第2期末：18,166円 (既払分配金 0円)

騰落率： 57.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、新興国の株式を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期中騰落率
サンズ・キャピタル・エマージング・マーケット・グロース・ファンドーA USD	39.4%	−0.5%	19.2%
アカディアン・エマージング・マーケット・エクイティ UCITS II −C	30.1%	−0.4%	51.2%
ARGAエマージング・マーケット・エクイティ・ファンドーCK USD	29.6%	+0.5%	74.8%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%	−0.0%	0.4%

（注）組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	38円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は14,497円です。
（投信会社）	(33)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(2)	(0.011)	運用報告書等各种書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	7	0.048	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.020)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.015)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.012)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	45	0.312	

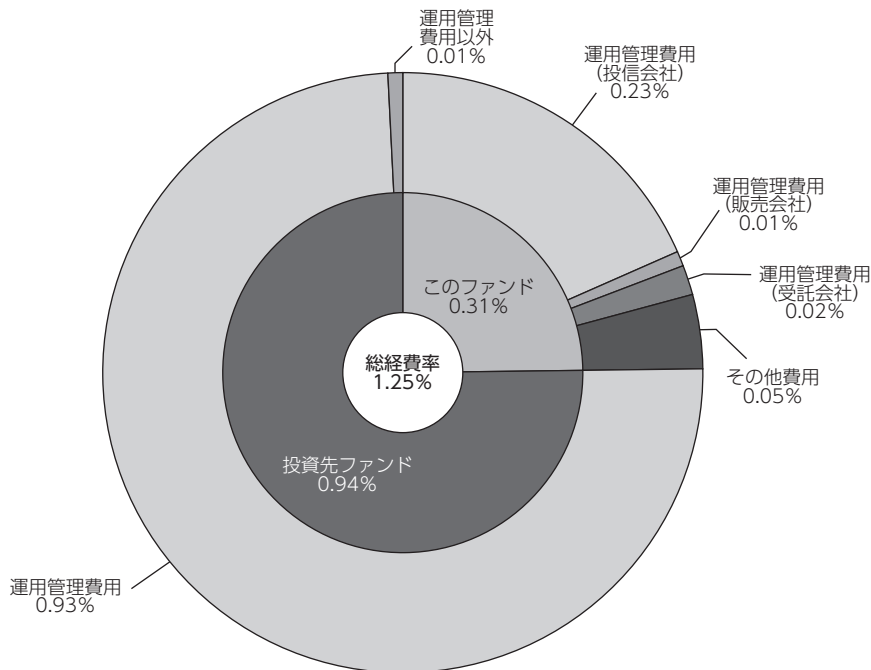
（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（注4）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



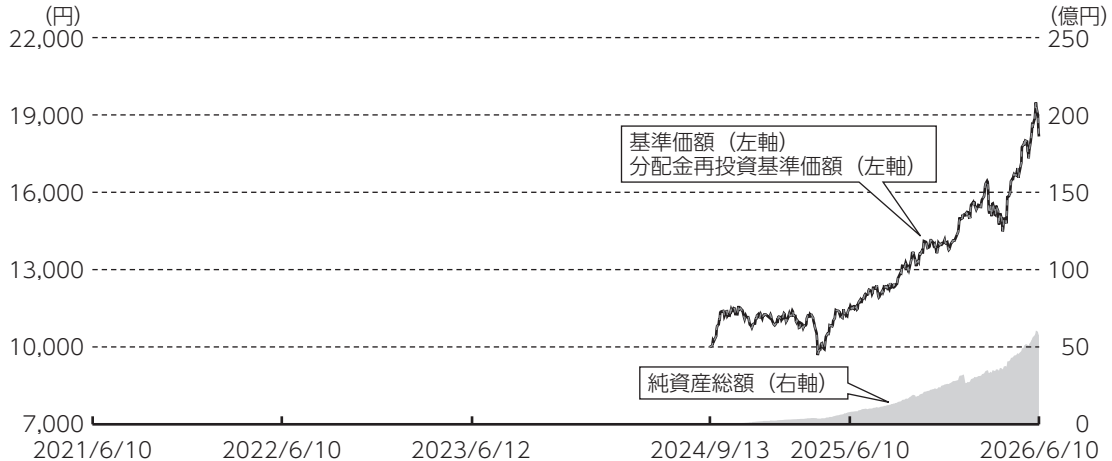
総経費率 (①+②+③)	1.25%
①このファンドの費用の比率	0.31%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.93%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注4) 各比率は、年率換算した値です。
(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
(注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。
(注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.25%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日 —	2022年6月10日 —	2023年6月12日 —	2024年9月13日 設定日	2025年6月10日 決算日	2026年6月10日 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	11,507	18,166
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	15.1	57.9
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	791	5,767

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

エマージング株式市場は上昇しました。期中は、中東情勢の緊張や米国の通商政策を巡る不透明感などを背景に、株価が不安定な動きとなる局面もみられました。しかし、人工知能（AI）関連需要の拡大期待を背景にアジア市場が堅調に推移したほか、米中関係の改善期待なども支援材料となり、株価は上昇基調を維持しました。期の終盤には中東情勢の悪化を受けて一時的に下落したものの、その後の緊張緩和期待などから反発しました。為替市場では、日米の金融政策や金利動向を巡る思惑から変動したものの、期を通じてみると米ドル高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、新興国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日~2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	8,165円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、新興国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

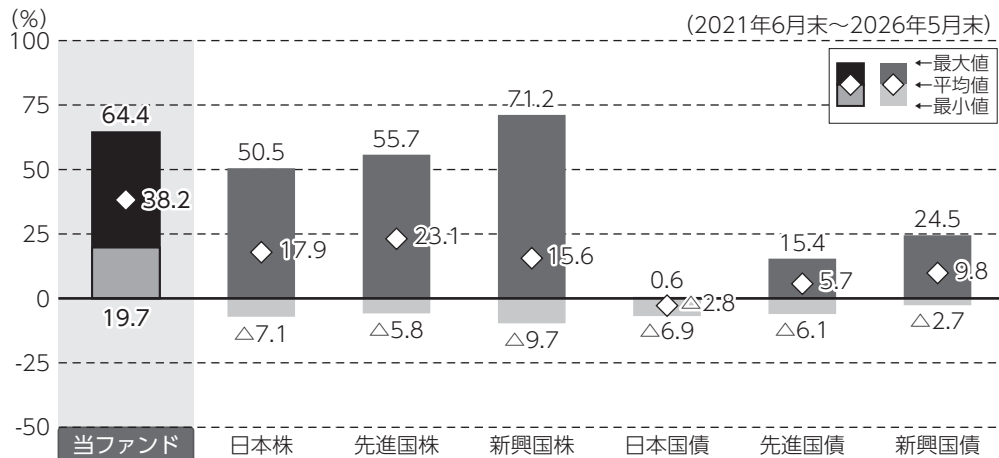
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	主として、新興国の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

*騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

*騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

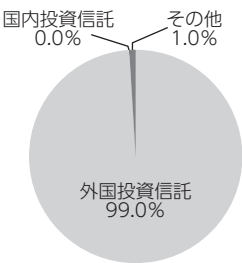
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：4銘柄）

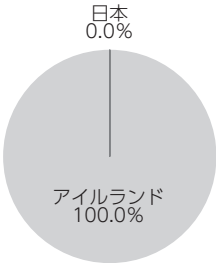
銘 柄	比率（%）
サンズ・キャピタル・エマージング・マーケット・グロース・ファンドーA USD	39.4
アカディアン・エマージング・マーケット・エクイティ UCITS IIーC	30.1
ARGAエマージング・マーケット・エクイティ・ファンドーCK USD	29.6
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

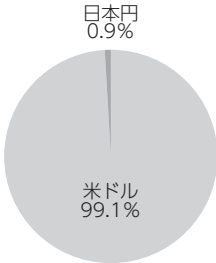
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



（注1）「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注2）組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」でご覧いただけます。

純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	5,767,206,143円
受益権総口数	3,174,751,035口
1万口当たり基準価額	18,166円

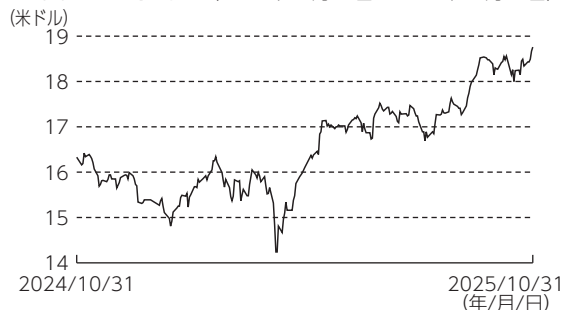
（注）当期（第2期）中における追加設定元本額は3,049,830,863円、同解約元本額は563,160,582円です。

組入上位ファンドの概要

(2025年10月31日現在)

◆サンズ・キャピタル・エマージング・マーケット・グロース・ファンドーA USD

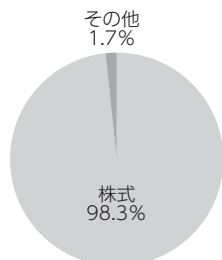
基準価額の推移 (2024年10月31日～2025年10月31日)



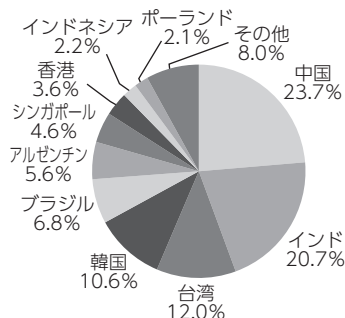
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：44銘柄)

銘柄名	国/地域	比率(%)
Tencent Holdings	中国	6.2
Taiwan Semiconductor Manufacturing Company ADR	台湾	5.4
Bajaj Finance	インド	4.8
MercadoLibre	アルゼンチン	4.8
Taiwan Semiconductor Manufacturing Company	台湾	4.0
HDFC Bank	インド	3.9
Nu Holdings	ブラジル	3.9
Samsung Electronics	韓国	3.7
Sea ADR	シンガポール	3.6
AIA Group	香港	3.5

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されておられません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

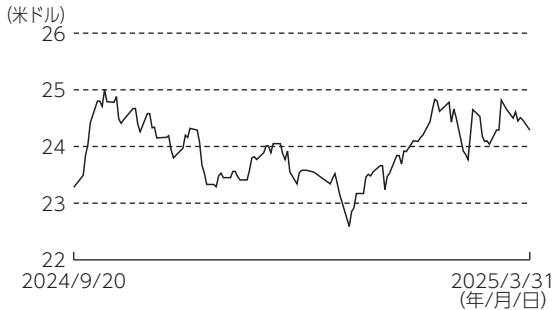
当該情報は開示されていないため、記載していません。

組入上位ファンドの概要

(2025年3月31日現在)

◆アカディアン・エマージング・マーケット・エクイティ UCITS II－C

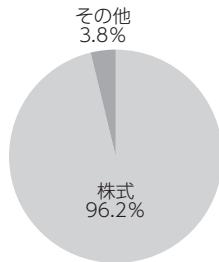
基準価額の推移 (2024年9月20日～2025年3月31日)



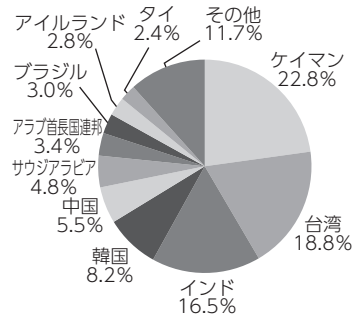
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：690銘柄)

銘柄名	種別	国／地域	比率(%)
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	株式	台湾	8.4
Tencent Holdings Ltd.	株式	ケイマン	5.3
Alibaba Group Holding Ltd.	株式	ケイマン	4.0
MGI Funds PLC - Acadian Sustainable China A Equity	投資信託証券	アイルランド	2.8
Samsung Electronics Co. Ltd.	株式	韓国	2.0
Xiaomi Corp.	株式	ケイマン	1.8
MediaTek, Inc.	株式	台湾	1.8
Infosys Ltd. ADR	株式	インド	1.8
China Construction Bank Corp. (Class H)	株式	中国	1.7
Meituan	株式	ケイマン	1.6

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されており
ません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2025年4月30日現在)

◆ARGAエマージング・マーケット・エクイティ・ファンドーCK USD

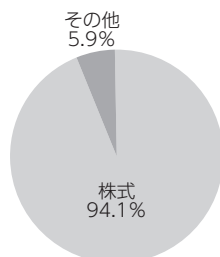
基準価額の推移

2025年4月30日以前の基準価額は存在しない
ため、基準価額の推移を表示できません。

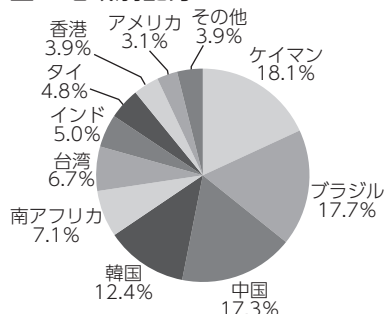
組入上位10銘柄（銘柄数合計：59銘柄）

銘柄名	国/地域	比率(%)
MTN Group Ltd ZAR0.0001	南アフリカ	3.8
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd TWD10.00	台湾	3.7
Gree Electric Appliances Inc Com CNY1.00	中国	3.6
Alibaba Group Holding Ltd Com USD0.000003	ケイマン	3.5
Las Vegas Sands Corp Com USD0.001	アメリカ	2.9
Samsung Electronics Co Ltd Com KRW100.00	韓国	2.8
China Overseas Land & Investment Ltd NPV	香港	2.7
Banco Bradesco SA ADR NPV	ブラジル	2.7
B3 SA Brasil Bolsa Balcao NPV	ブラジル	2.5
HDFC Bank Ltd INR1.00	インド	2.5

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されてお
りません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として、コモディティ（商品）およびコモディティに関連する証券（資源株）等を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界のコモディティ価格の上昇による収益の獲得を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBS・コモディティファンド

追加型／内外／資産複合

第2期（決算日2026年6月10日）
作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	16,514円
純資産総額	5,367百万円
騰落率*	45.4%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

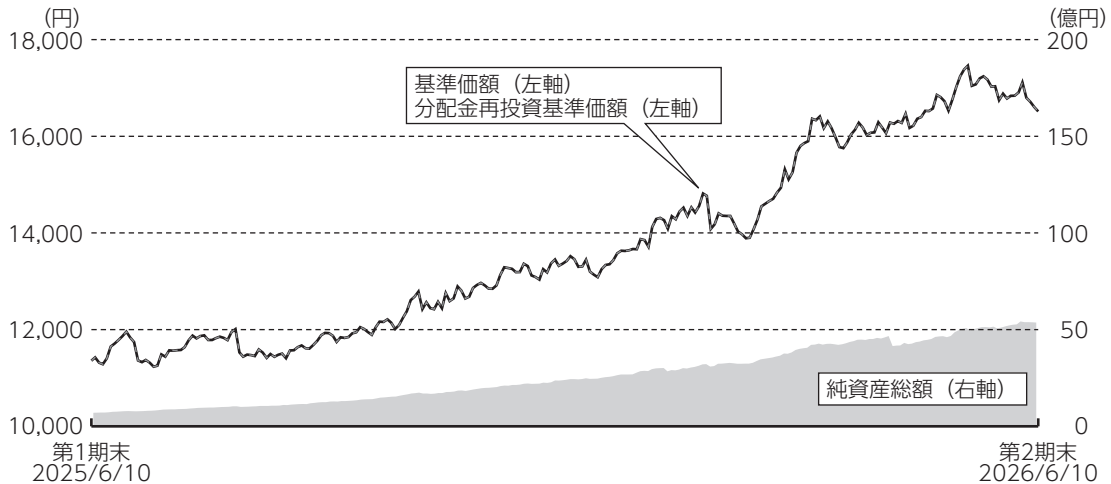


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：11,356円

第2期末：16,514円（既払分配金 0円）

騰落率： 45.4%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、コモディティ（商品）およびコモディティに関連する証券（資源株）等を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期間中騰落率
UBS BBGコモディティ・CMCI SF UCITS ETF-USD	69.4%	+69.4%	19.2%
ニューバーガー・バーマン・コモディティーズ・ファンドーI3 USD	30.0%	+0.8%	38.3%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%	-0.0%	0.4%

(注1) 組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 「UBS BBGコモディティ・CMCI SF UCITS ETF-USD」の当期間中騰落率は、2025年12月15日から期末までの期間で算出しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	37円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は13,848円です。
（投信会社）	(32)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(2)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	6	0.047	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.020)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.015)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.012)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	43	0.311	

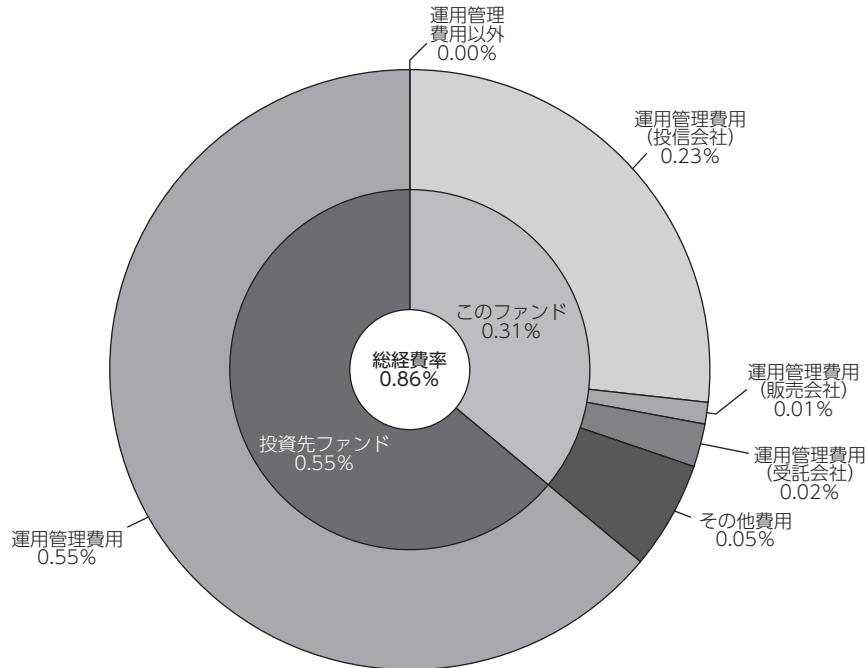
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	0.86%
①このファンドの費用の比率	0.31%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.55%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。
- (注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.86%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日	2022年6月10日	2023年6月12日	2024年9月13日	2025年6月10日	2026年6月10日
	—	—	—	設定日	決算日	決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	11,356	16,514
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	13.6	45.4
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	696	5,367

- (注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。
- (注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境について

コモディティ市場では、原油が上昇しました。期中は、中東情勢や需給環境を巡る思惑などから方向感に欠ける展開となりましたが、期の終盤には中東情勢の緊張激化を受けて原油供給の停滞懸念が高まり、価格が急騰しました。その後は米国とイランの停戦合意などを受けて急反落する場面もありましたが、期を通じてみると上昇しました。一方で金は、地政学リスクの高まりや先行き不透明な市場環境を背景とした「安全資産」への需要に支えられ、堅調に推移しました。為替市場では、日米の金融政策や金利動向を巡る思惑から変動したものの、期を通じてみると米ドル高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、コモディティ（商品）およびコモディティに関連する証券（資源株）等を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界のコモディティ価格の上昇による収益の獲得を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。この結果、当期は組入れの指定投資信託証券の一部入替えを行いました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日~2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	6,513円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、コモディティ（商品）およびコモディティに関連する証券（資源株）等を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界のコモディティ価格の上昇による収益の獲得を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

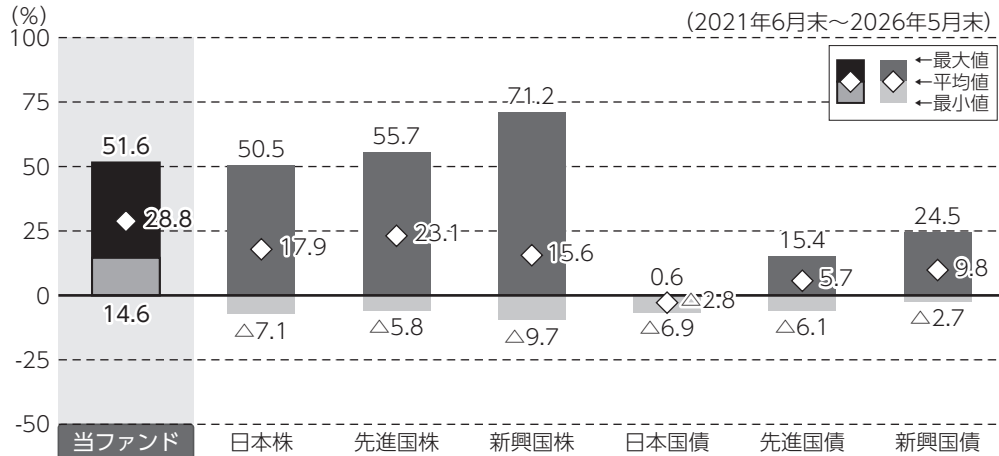
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	主として、コモディティ（商品）およびコモディティに関連する証券（資源株）等を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界のコモディティ価格の上昇による収益の獲得を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- * 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

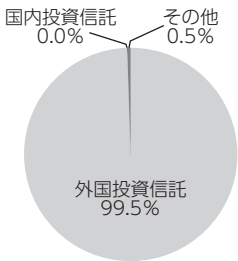
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：3銘柄）

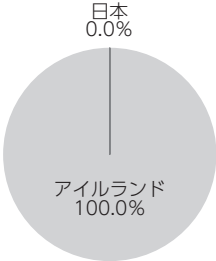
銘 柄	比率 (%)
UBS BBGコモディティ・CMCI SF UCITS ETF-USD	69.4
ニューバーガー・バーマン・コモディティーズ・ファンドーI3 USD	30.0
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

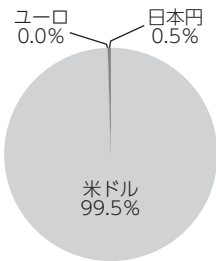
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



（注1）「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注2）組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」でご覧いただけます。

純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	5,367,100,286円
受益権総口数	3,250,075,390口
1万口当たり基準価額	16,514円

（注）当期（第2期）中における追加設定元本額は3,167,688,817円、同解約元本額は531,291,036円です。

(2025年6月30日現在)

組入上位ファンドの概要

◆UBS BBGコモディティ・CMCI SF UCITS ETF-USD

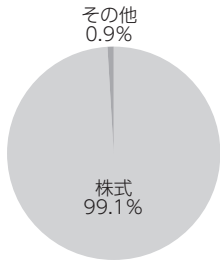
基準価額の推移

2025年6月30日以前の基準価額は存在しないため、基準価額の推移を表示できません。

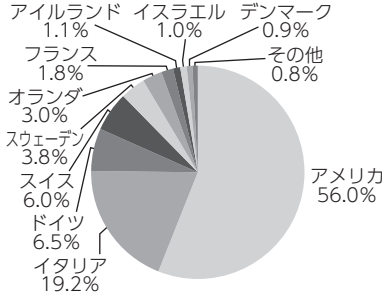
組入上位10銘柄（銘柄数合計：177銘柄）

銘柄名	比率(%)
Enel SpA	7.3
Alphabet Inc - Class A	5.3
Apple Inc	5.1
Microsoft Corp	5.1
Amazon.com Inc	4.5
Intesa Sanpaolo SpA	3.7
Broadcom Inc	2.6
NVIDIA Corp	2.5
Tesla Inc	2.2
Meta Platforms Inc	2.0

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されておりません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

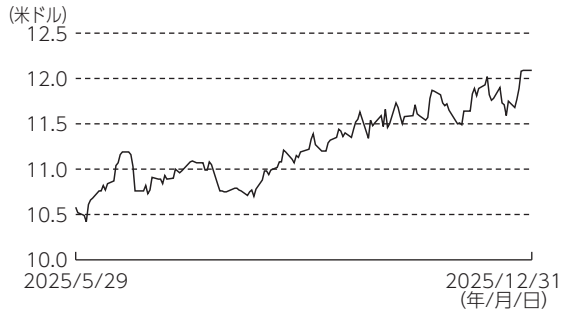
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2025年12月31日現在)

◆ニューバーガー・バーマン・コモディティーズ・ファンドーI3 USD

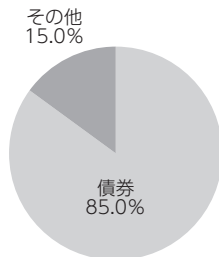
基準価額の推移 (2025年5月29日～2025年12月31日)



組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 68銘柄)

銘柄名	種別	比率(%)
United States Treasury Bill 0.00% 06/01/2026	割引短期国債	15.3
United States Treasury Bill 0.00% 08/01/2026	割引短期国債	9.7
Wells Fargo & Co 4.68% 24/01/2028	社債	2.3
American Express Co 4.81% 16/02/2028	社債	2.2
AT&T Inc 1.70% 25/03/2026	社債	2.1
Truist Bank 4.67% 24/07/2028	社債	2.0
Goldman Sachs Group Inc 5.57% 15/03/2028	社債	1.9
Bank of New York Mellon Corp 4.42% 09/06/2028	社債	1.8
Bank of America Corp 5.08% 15/09/2027	社債	1.8
Citibank NA 4.51% 19/11/2027	社債	1.8

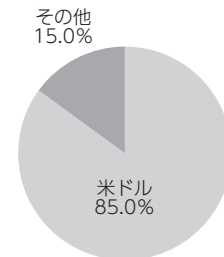
資産別配分



国・地域別配分

必要な情報が開示されておりません。

通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

◆UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け） 41ページをご参照ください。

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは主として、株式選定に関わるUBSの運用知見を活用し、世界各国の企業の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

FW・UBSプレミアム・エクイティファンド

追加型／内外／株式

第2期（決算日2026年6月10日）

作成対象期間（2025年6月11日～2026年6月10日）

第2期末（2026年6月10日）	
基準価額	15,381円
純資産総額	5,636百万円
騰落率*	38.1%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

<閲覧方法>

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

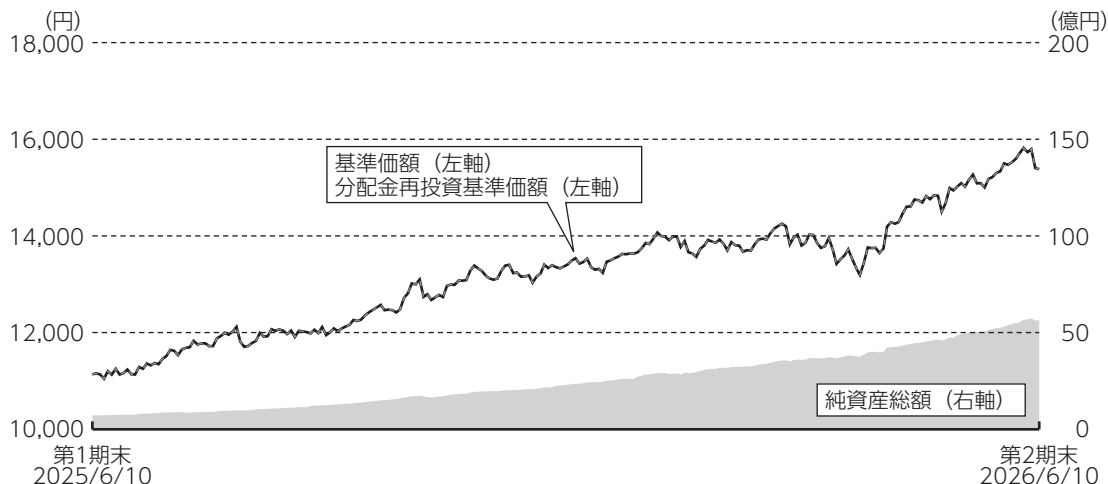
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年6月10日～2026年6月10日)



第2期首：11,135円

第2期末：15,381円 (既払分配金 0円)

騰落率： 38.1% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、株式選定に関わるUBSの運用知見を活用し、世界各国の企業の株式を投資対象とする投資信託証券に投資しております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

組入投資信託の状況

投資対象資産	当期末組入比率	期首と期末の差	当期間中騰落率
UBSコモン・コントラクトリアル・ファンド－グローバル・クライメート・トランジション UCITS－I-N A USD	61.7%	+0.5%	23.5%
UBS (Lux) インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド－I-A1	15.6%	+1.2%	10.9%
UBS (Lux) キー・セレクトシヨンスICAV－デジタル・トランスフォーメーション・テーマズ (USD) －I-A3	14.8%	－0.0%	38.0%
UBS (Lux) インスティテュショナル SICAV－エマージング・マーケット・エクイティ・パッシブ (USD) －I-A1	7.7%	+1.1%	44.3%
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	0.0%	－0.0%	0.4%

(注) 組入比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2025/6/11～2026/6/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	35円	0.264%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は13,321円です。
（投信会社）	(31)	(0.231)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	6	0.046	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.019)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.015)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.011)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	41	0.310	

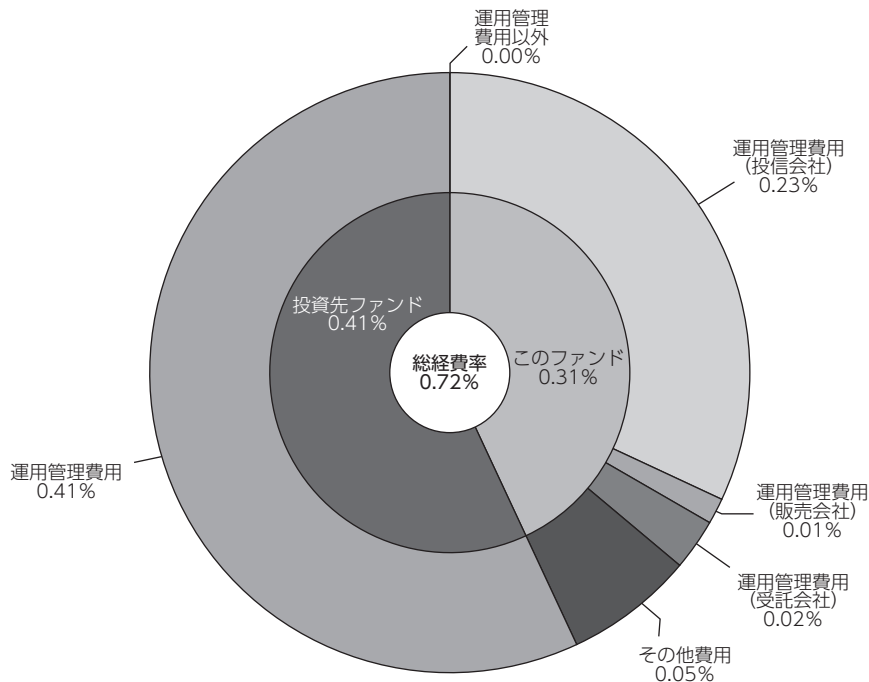
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	0.72%
①このファンドの費用の比率	0.31%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.41%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。
- (注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.72%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2024年9月13日～2026年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定時（2024年9月13日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月10日 —	2022年6月10日 —	2023年6月12日 —	2024年9月13日 設定日	2025年6月10日 決算日	2026年6月10日 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	11,135	15,381
期間分配金合計（税込み） (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	—	—	—	11.4	38.1
純資産総額 (百万円)	—	—	—	10	720	5,636

(注1) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月10日の騰落率は設定当初との比較です。

※当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

世界株式市場は全般に上昇しました。期中は、人工知能（AI）関連投資の拡大期待や企業業績の底堅さを背景に、米国を中心として株価は上昇基調で推移しました。また、米国の利下げ期待や、AI関連需要の恩恵を受けるアジア市場の堅調な推移も株価の支援材料となりました。期の終盤には、中東情勢の緊張激化を受けて世界的にリスク回避の動きが強まり、一時的に株価が大きく下落する局面もありましたが、その後は米国とイランの停戦合意などを受けて反発しました。為替市場では、日米の金融政策や金利動向を巡る思惑から変動したものの、期を通じてみると米ドル高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として、株式選定に関わるUBSの運用知見を活用し、世界各国の企業の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行いました。組入れの指定投資信託証券については、定性・定量の両面から継続的な評価を実施し、配分比率を適宜見直しました。

指定投資信託証券の組入れは、期を通じて高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2025年6月11日~2026年6月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	5,381円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針

今後も引き続き、主として、株式選定に関わるUBSの運用知見を活用し、世界各国の企業の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行う方針です。指定投資信託証券については、適宜見直しを行い、必要に応じて追加または入替え等を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

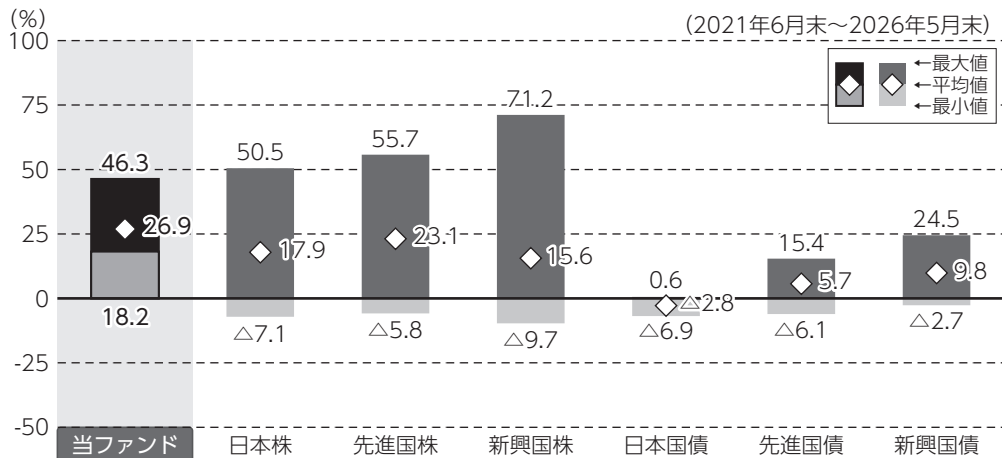
- ・投資対象とする指定投資信託証券の一部に該当する変更事項（追加、削除または名称変更）について所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2025年9月11日）
- ・2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型／内外／株式
信託期間	無期限
運用方針	主として、株式選定に関わるUBSの運用知見を活用し、世界各国の企業の株式を投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の投資証券または受益権を主要投資対象とします。 ※円建ての短期金融商品および短期債券を投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。
運用方法	指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）などを勘案して決定します。 指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組み入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッド（UBS Asset Management (UK) Ltd）およびUBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシー（UBS Asset Management (Americas) LLC）に運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

※当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*2021年6月から2026年5月の5年間（当ファンドは2025年9月から2026年5月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

*騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

*騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

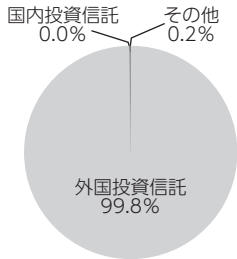
(2026年6月10日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：5銘柄）

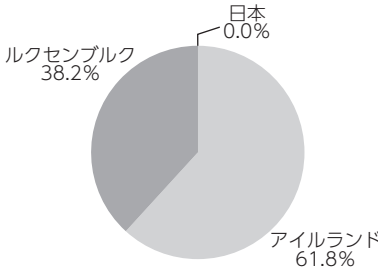
銘 柄	比率 (%)
UBSコモン・コントラクトアル・ファンドーグローバル・クライメート・トランジション UCITS-I-N A USD	61.7
UBS (Lux) インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドーI-A1	15.6
UBS (Lux) キー・セクションSICAVーデジタル・トランスフォーメーション・テーマズ (USD) ーI-A3	14.8
UBS (Lux) インスティテュショナル SICAVーエマージング・マーケット・エクイティ・パッシブ (USD) ーI-A1	7.7
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

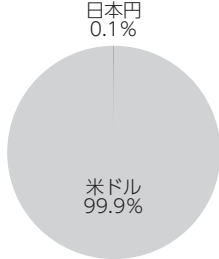
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

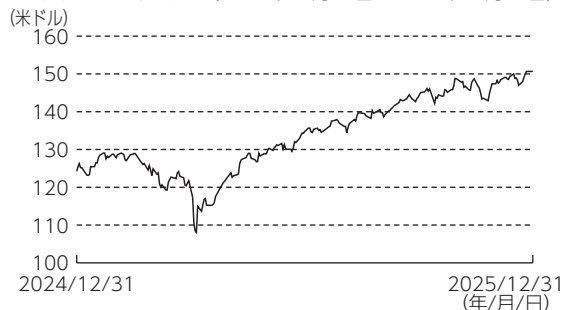
純資産等

項 目	第2期末 2026年6月10日
純資産総額	5,636,533,917円
受益権総口数	3,664,510,906口
1万口当たり基準価額	15,381円

(注) 当期（第2期）中における追加設定元本額は3,240,521,989円、同解約元本額は223,395,066円です。

組入上位ファンドの概要

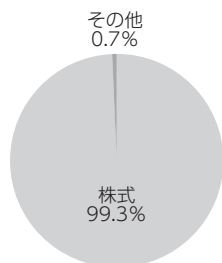
(2025年12月31日現在)

◆UBSコモン・コントラクトリアル・ファンドーグローバル・クライメート・トランジション UCITS-I-N A USD
基準価額の推移 (2024年12月31日～2025年12月31日)

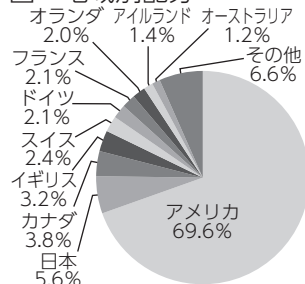
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：937銘柄)

銘柄名	種別	国／地域	比率(%)
NVIDIA Com	株式	アメリカ	5.5
Apple Com	株式	アメリカ	4.6
Microsoft Com	株式	アメリカ	4.3
Amazon.com Com	株式	アメリカ	2.6
Alphabet Class A Com	株式	アメリカ	2.3
Broadcom Com NPV	株式	アメリカ	2.0
Alphabet Class C Com	株式	アメリカ	1.9
Facebook Class A Com	株式	アメリカ	1.7
Tesla Com	株式	アメリカ	1.7
JPMorgan Chase Class C Com	株式	アメリカ	1.1

資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

必要な情報が開示されてお
りません。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

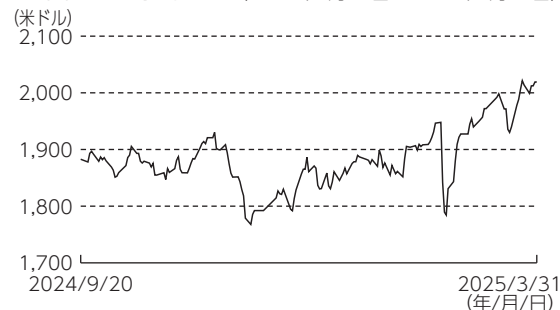
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2025年5月31日現在)

◆UBS (Lux) インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドーA1

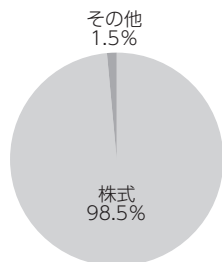
基準価額の推移 (2024年9月20日～2025年5月31日)



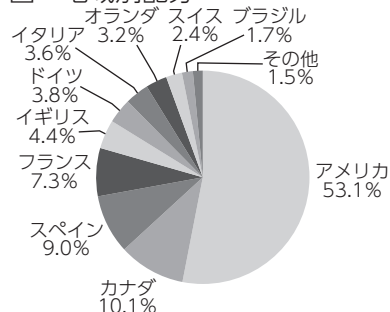
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：45銘柄)

銘柄名	国/地域	比率(%)
AMERICAN TOWER	アメリカ	4.7
WILLIAMS COMPANIES	アメリカ	4.0
IBERDROLA	スペイン	3.7
E.ON (REG.SHARES)	ドイツ	3.7
KINDER MORGAN	アメリカ	3.5
AMERICAN WATER WORKS	アメリカ	3.5
EQUINIX	アメリカ	3.4
REPUBLIC SERVICES	アメリカ	3.3
AENA	スペイン	3.2
CHENIERE ENERGY	アメリカ	3.2

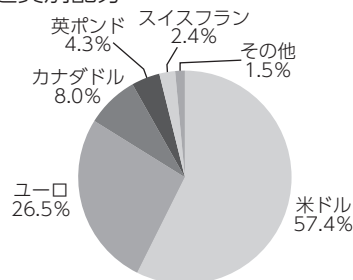
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。

(注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。

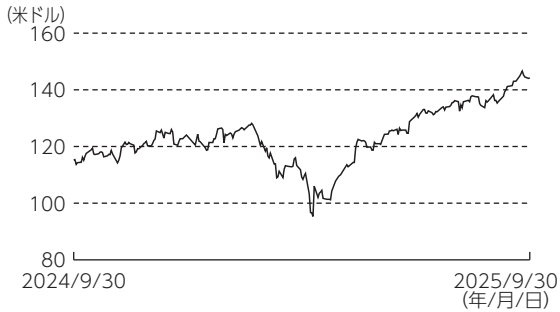
(注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

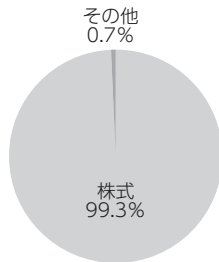
(2025年9月30日現在)

◆UBS (Lux) キー・セレクションSICAVーデジタル・トランスフォーメーション・テーマズ (USD) -I-A3
基準価額の推移 (2024年9月30日～2025年9月30日)

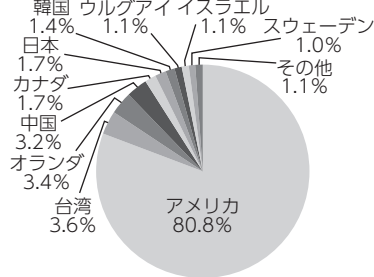
組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 57銘柄)

銘柄名	国/地域	比率(%)
NVIDIA CORP COM USD0.001	アメリカ	7.3
MICROSOFT CORP COM USD0.0000125	アメリカ	5.7
APPLE INC COM NPV	アメリカ	4.9
AMAZON COM INC COM USD0.01	アメリカ	4.3
TAIWAN SEMICON MAN ADS REP 5 ORD TWD10	台湾	3.5
BROADCOM CORP COM USD1.00	アメリカ	3.4
META PLATFORMS INC	アメリカ	3.2
ORACLE CORP COM USD0.01	アメリカ	3.1
ARISTA NETWORKS IN COM USD0.0001 (PST REV SPT)	アメリカ	2.9
ALPHABET INC CAP STK USD0.001 CL A	アメリカ	2.7

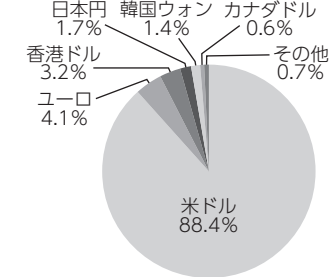
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。